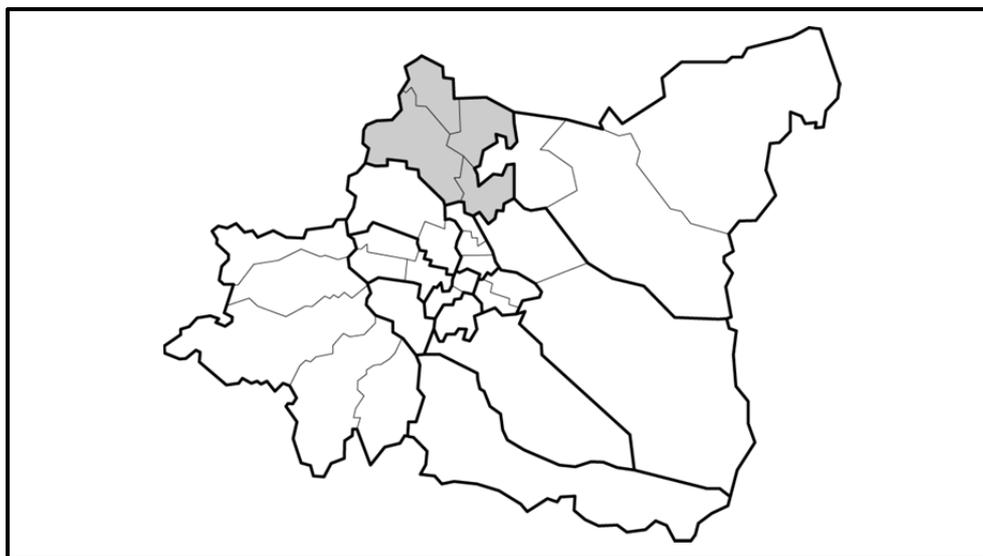


I 「第1圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第1圏域	21,313	7,012	32.9	3,246	3,766	53.7
出羽地区	6,679	2,225	33.3	1,092	1,133	50.9
大郷地区	4,157	1,493	35.9	627	866	58.0
明治地区	2,264	687	30.3	366	321	46.7
千歳地区	8,213	2,607	31.7	1,161	1,446	55.5

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第1圏域	5,827	257	928	16.9	470	6.7
出羽地区	1,930	77	218	13.3	99	4.4
大郷地区	1,178	42	273	21.1	157	10.5
明治地区	588	28	71	14.4	29	4.2
千歳地区	2,131	110	366	18.3	185	7.1

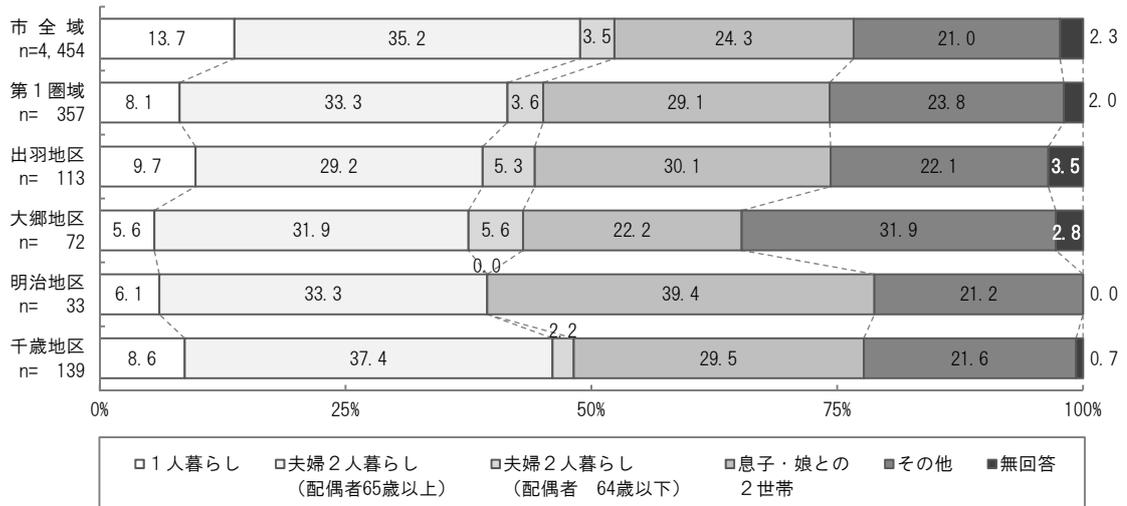
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
2カ所	7カ所	0カ所	5カ所	9カ所	8カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
3カ所	0カ所	25カ所	2カ所	10カ所	13カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第1圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、〈大郷地区〉〈千歳地区〉で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（31.9%・37.4%）、〈出羽地区〉〈明治地区〉で「息子・娘との2世帯」（30.1%・39.4%）が最も高くなっています。

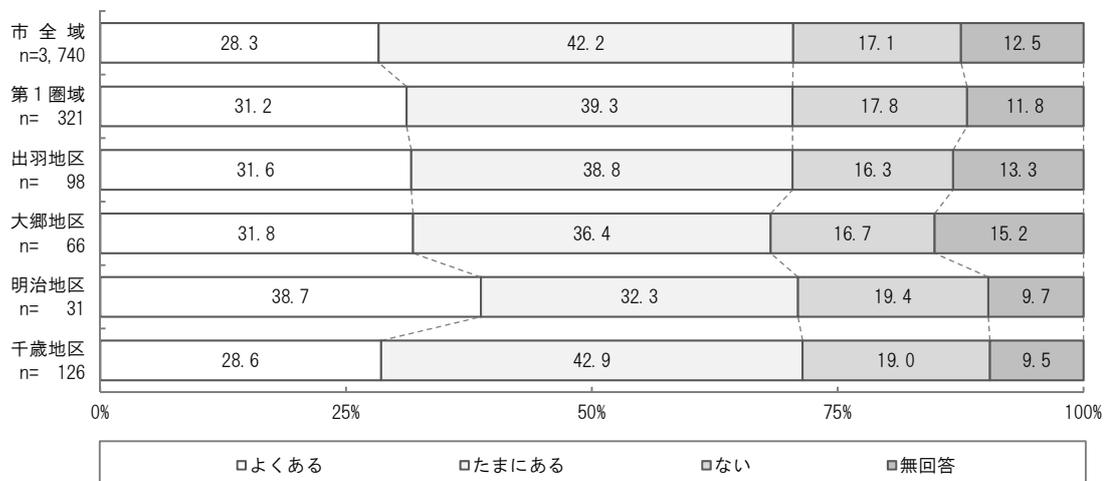
図 2-1.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第1圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈出羽地区〉〈大郷地区〉〈千歳地区〉で「たまにある」（42.9~36.4%）、〈明治地区〉で「よくある」（38.7%）が最も高くなっています。

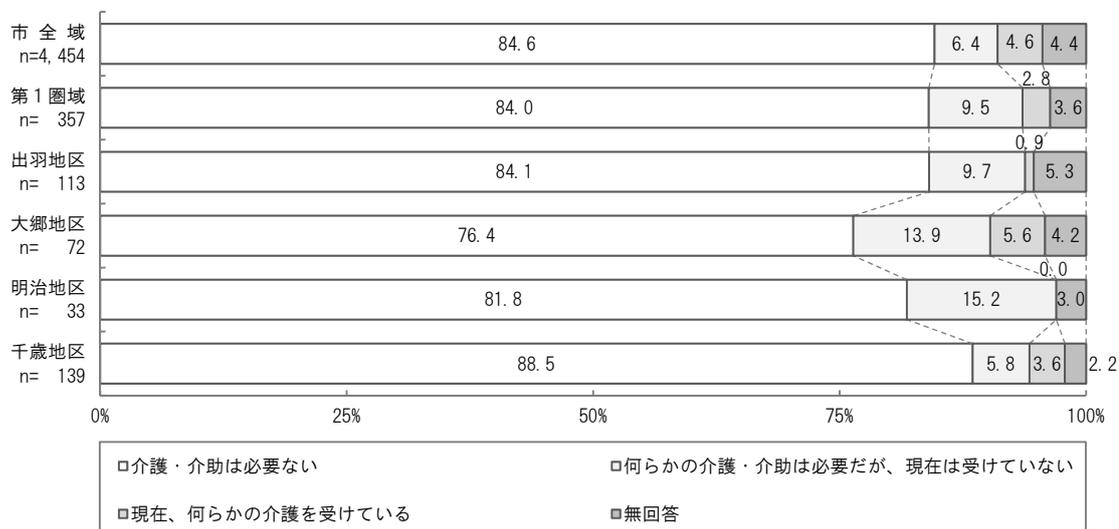
図 2-1.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第1圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、全ての地区で「介護・介助は必要ない」（76.4～88.5%）が最も高くなっています。

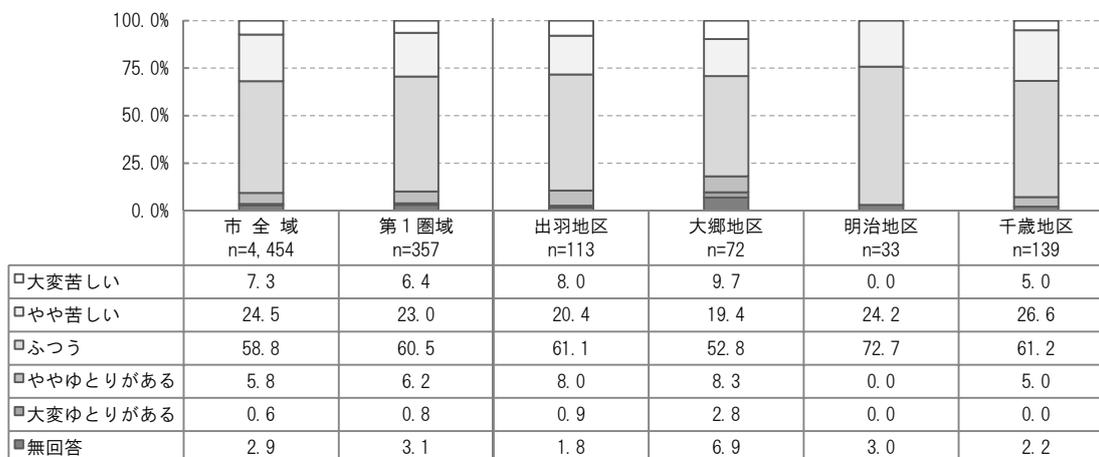
図 2-1.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第1圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、全ての地区で「ふつう」（52.8～72.7%）が最も高くなっています。〈第1圏域〉の「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた割合が7.0%となっている一方で、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた割合が29.4%と高くなっています。

図 2-1.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像”からみた地域分析

- 〈第1圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、健康高齢者では〈千歳地区〉〈出羽地区〉、介護予防事業対象者では〈明治地区〉〈大郷地区〉〈出羽地区〉、サービス事業対象者では〈大郷地区〉で市平均値を上回っています。

図 2-1.5 3つの高齢者像別出現率

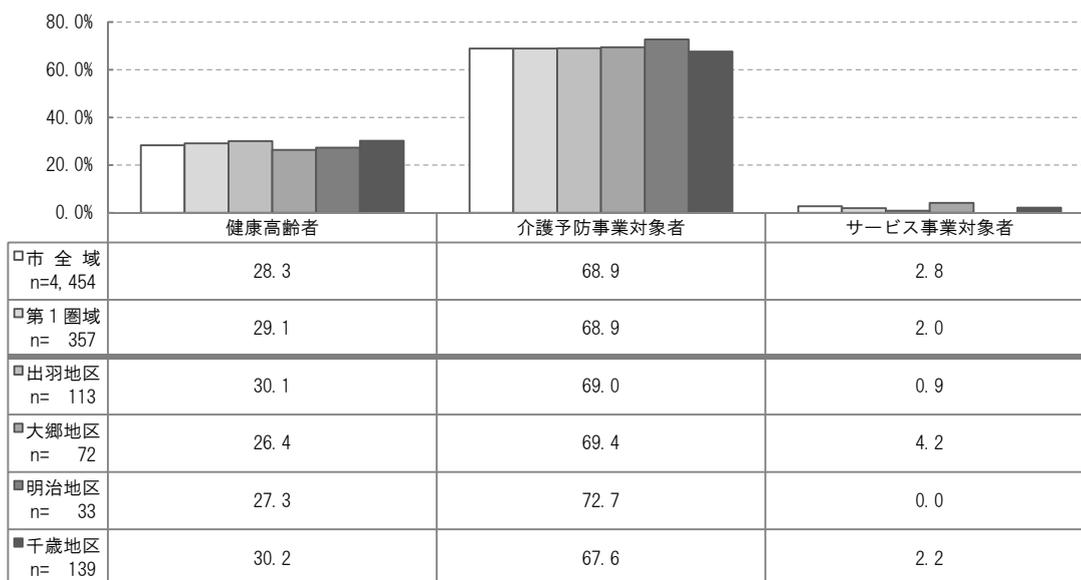
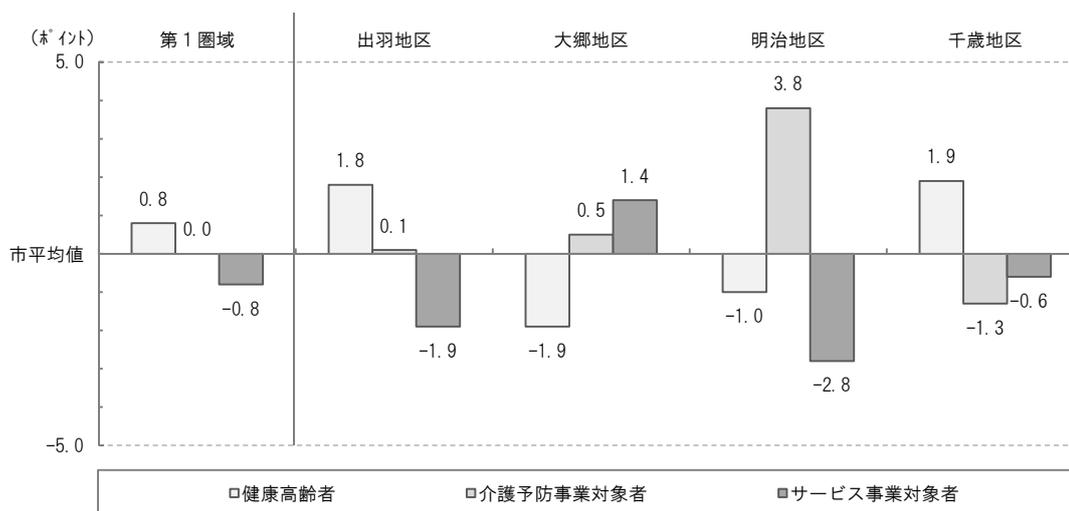


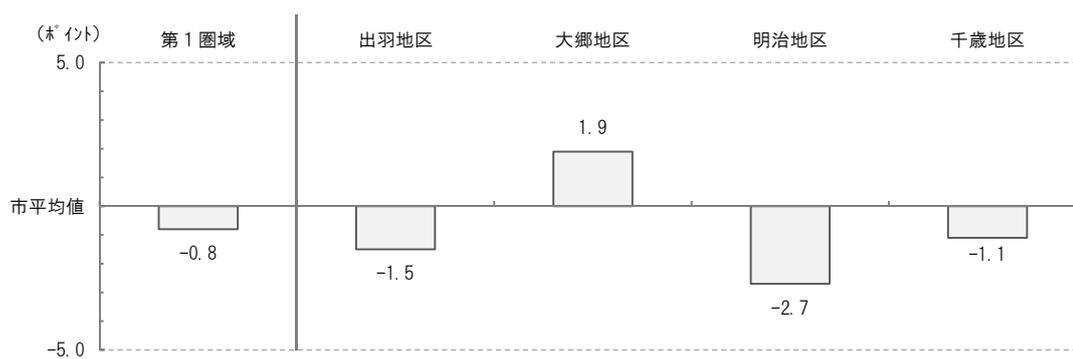
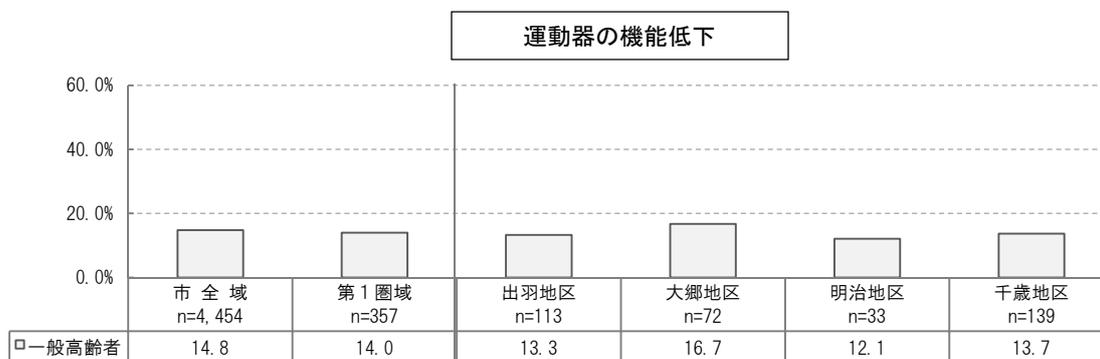
図 2-1.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



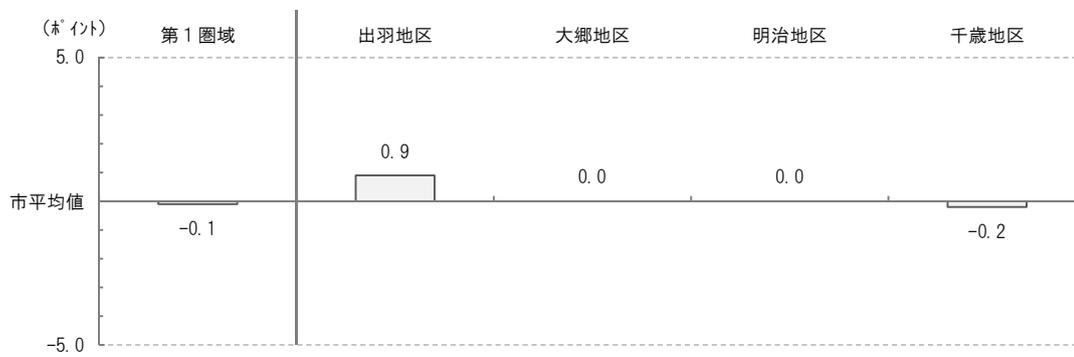
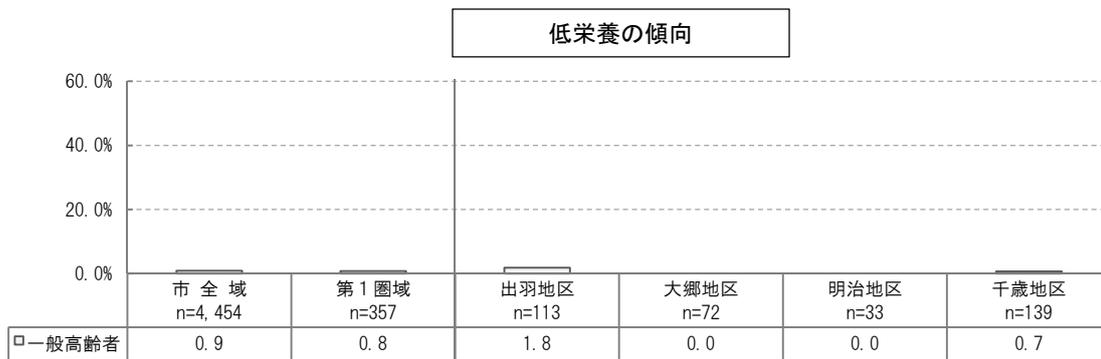
3 リスク別該当者の予測

○〈第1圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈大郷地区〉4.6ポイントが最も高くなっています。

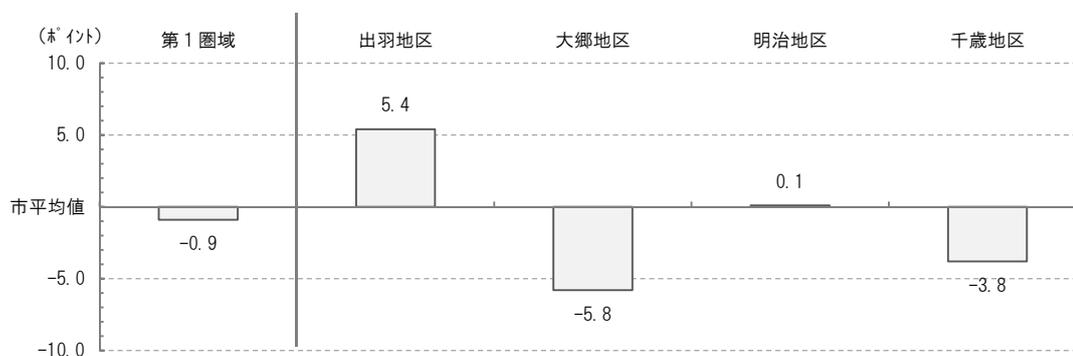
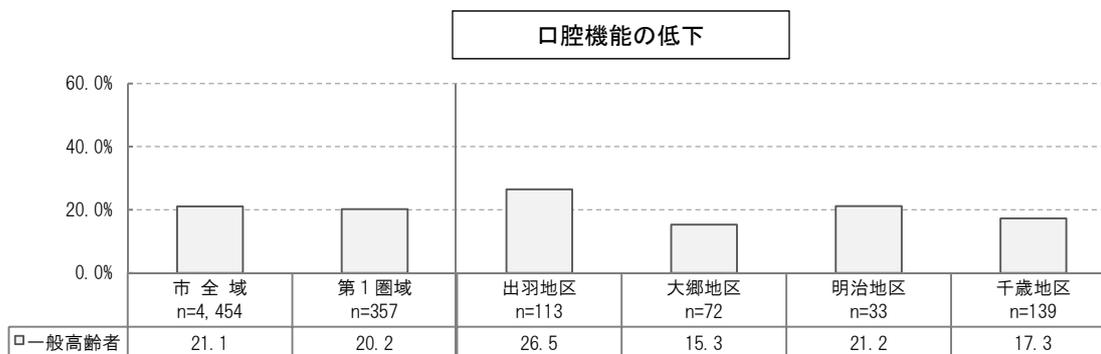
図 2-1.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



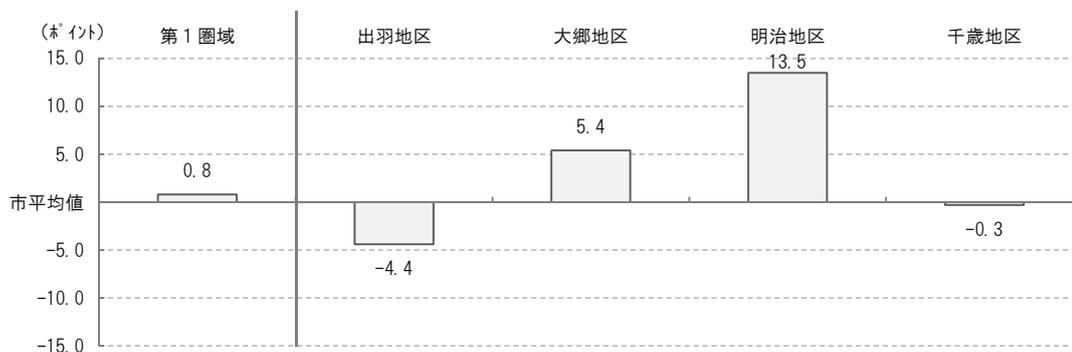
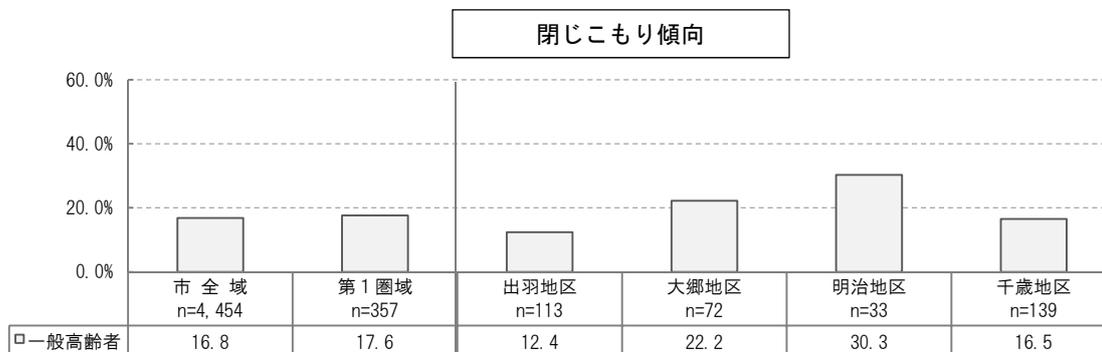
○〈第1圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈出羽地区〉の1.8^{ポイント}が最も高くなっています。



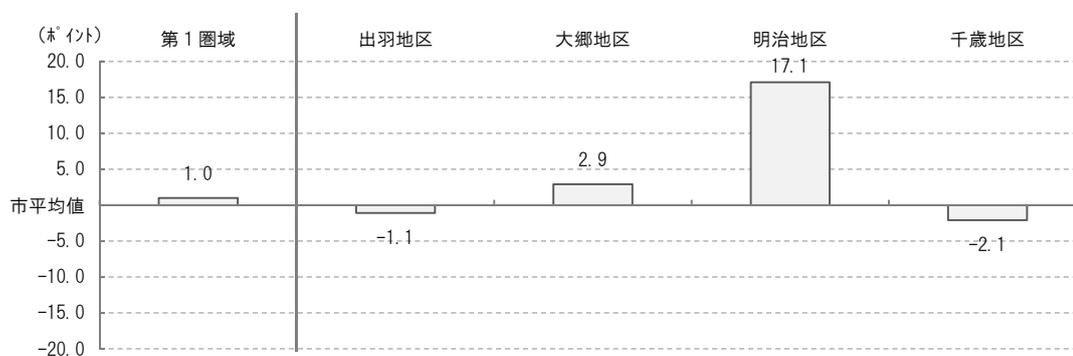
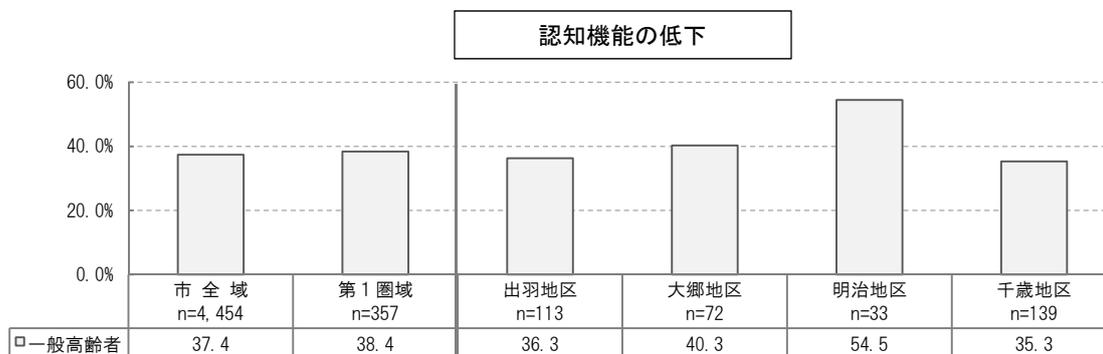
○ 〈第1圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈出羽地区〉で市平均値より5.4ポイント、〈明治地区〉で0.1ポイント高く、各地区の出現率は15.3～26.5%で、地区差の最大値は11.2ポイントとなっています。



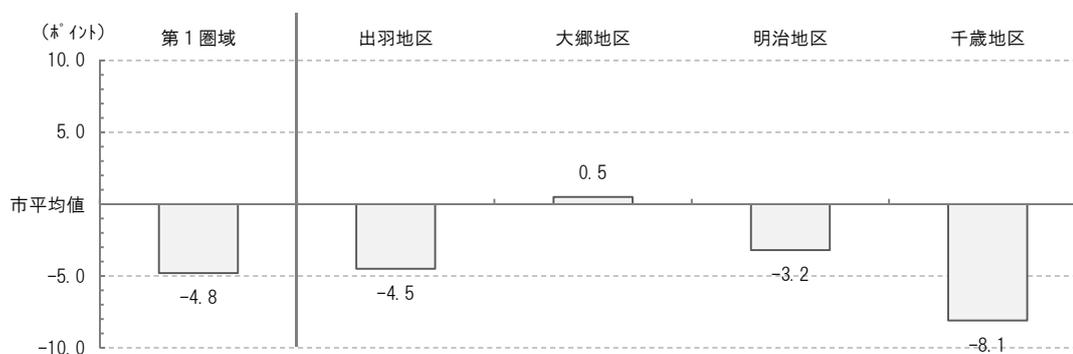
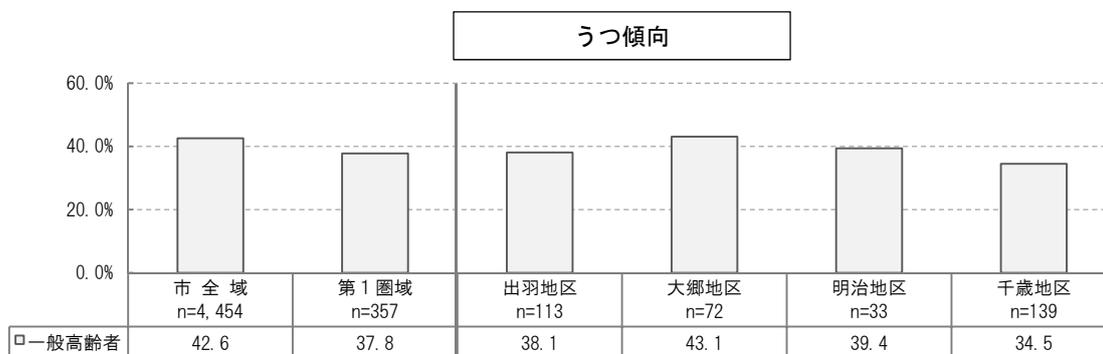
○〈第1圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈明治地区〉で市平均値より13.5^{ポイント}、〈大郷地区〉で5.4^{ポイント}高く、各地区の出現率は12.4～30.3%で、地区差の最大値は17.9^{ポイント}となっています。



○〈第1圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈明治地区〉で市平均値より17.1ポイント、〈大郷地区〉で2.9ポイント高く、各地区の出現率は35.3～54.5%で、地区差の最大値は19.2ポイントとなっています。



○〈第1圏域〉の「うつ傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈大郷地区〉で市平均値より0.5ポイント高く、各地区の出現率は34.5～43.1%で、地区差の最大値は8.6ポイントとなっています。

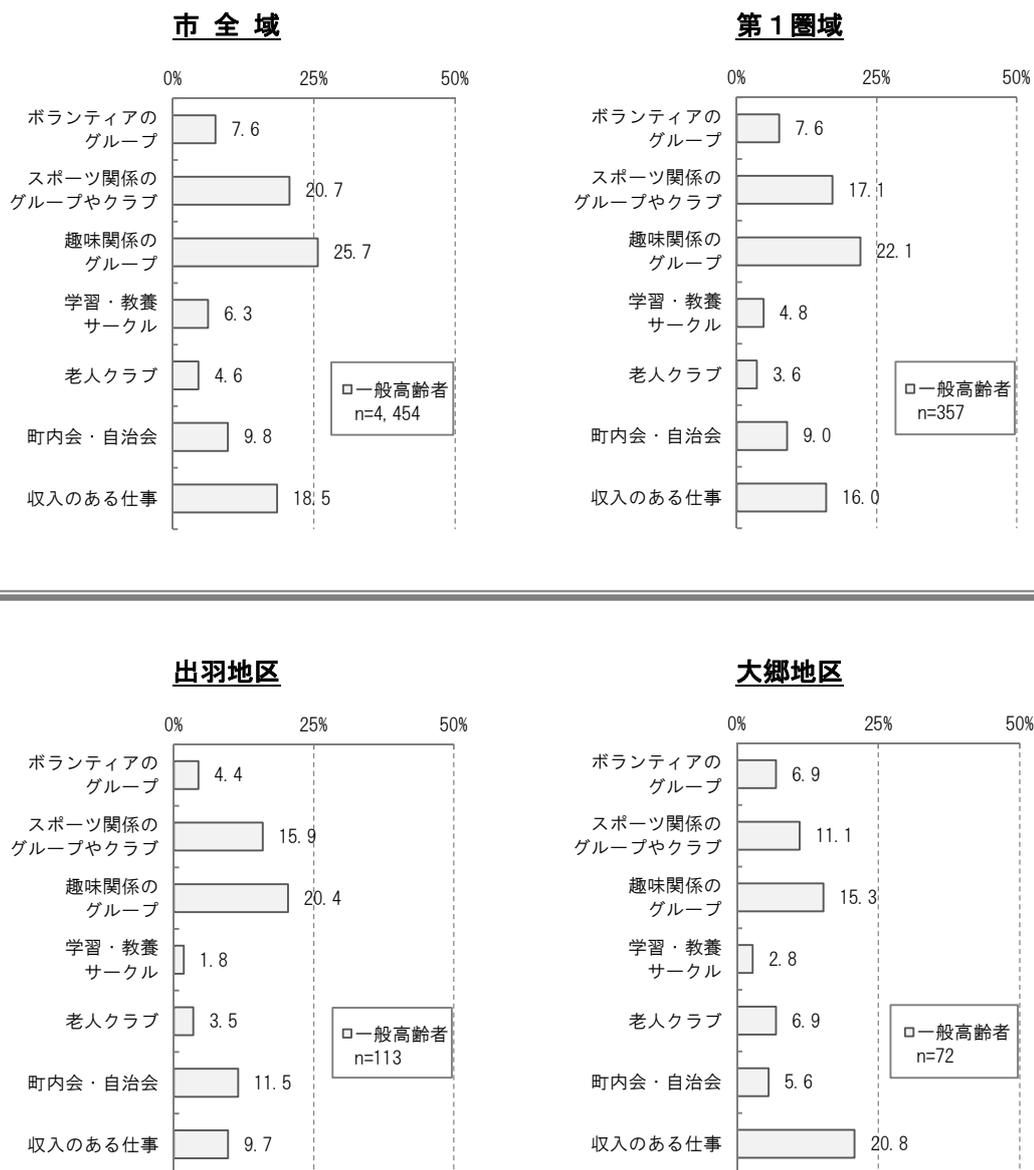


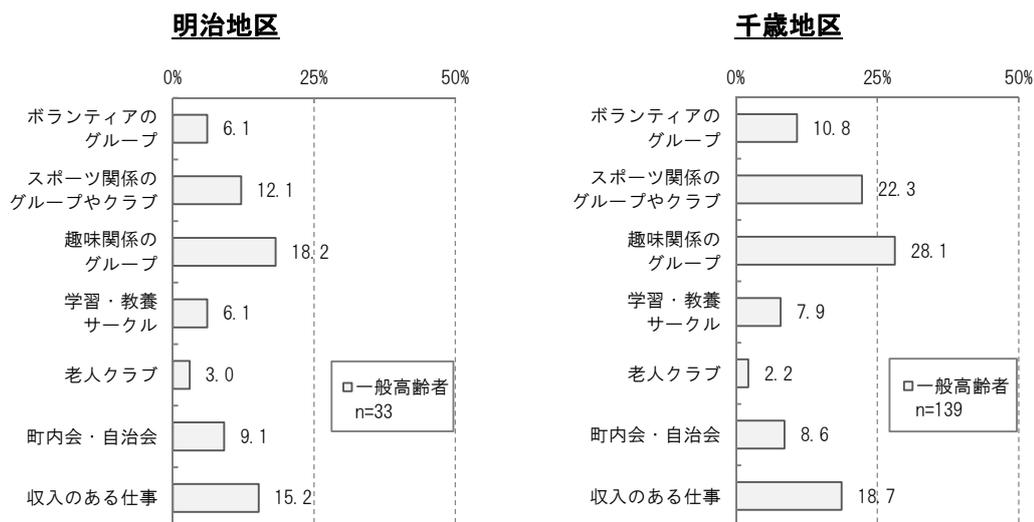
4 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○〈第1圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、〈出羽地区〉〈明治地区〉〈千歳地区〉で「趣味関係のグループ」、〈大郷地区〉で「収入のある仕事」が最も高くなっています。

図 2-1.8 地域活動への参加状況

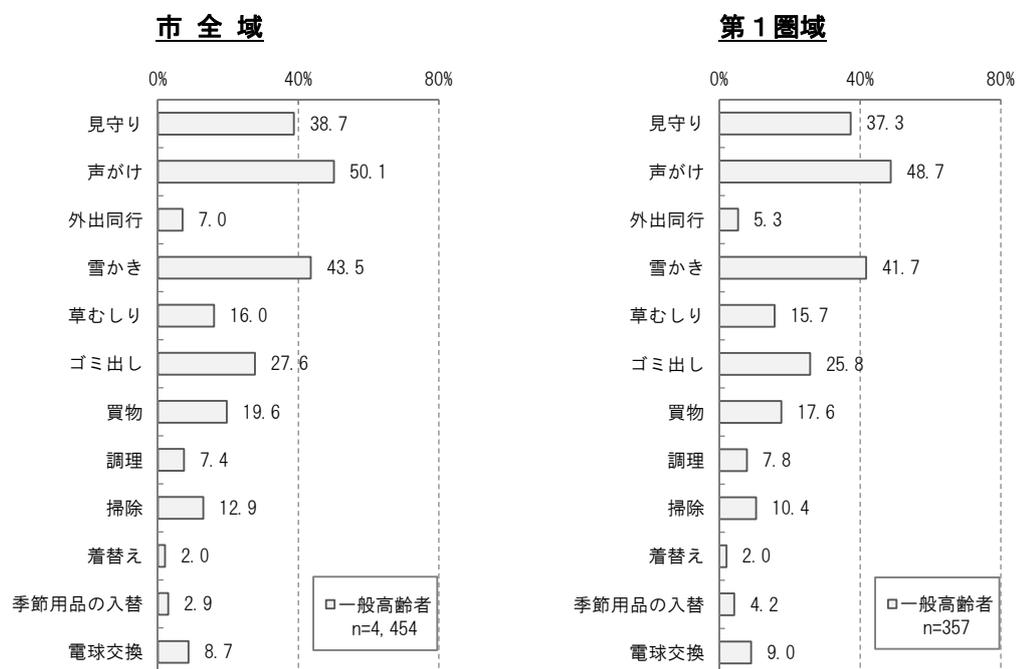




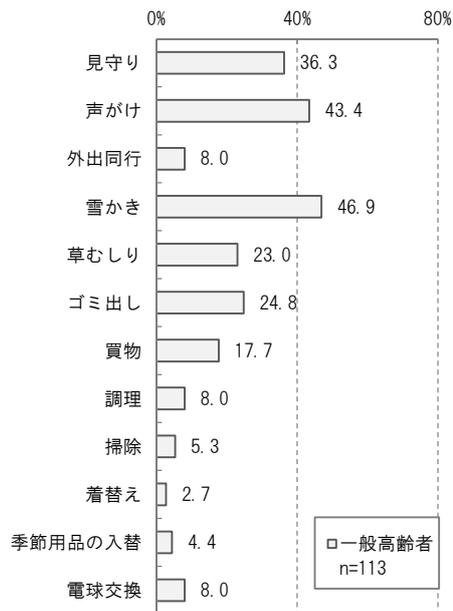
(2) 地域に期待する支援 (サービス)

○ 〈第1圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、〈大郷地区〉〈明治地区〉〈千歳地区〉では「声かけ」が最も高くなっています。〈出羽地区〉では「雪かき」が最も高くなっています。

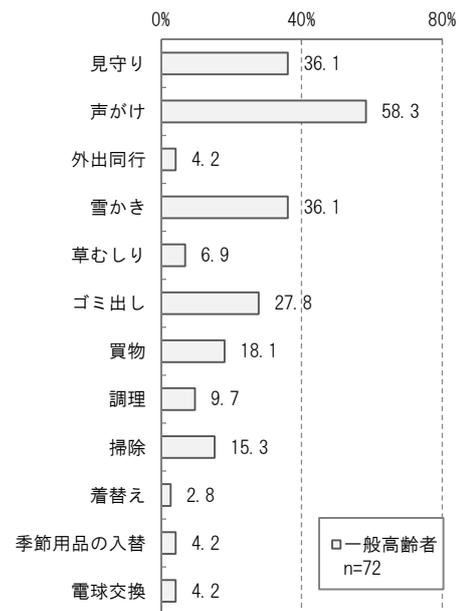
図 2-1.9 近隣住民をお願いしたい支援



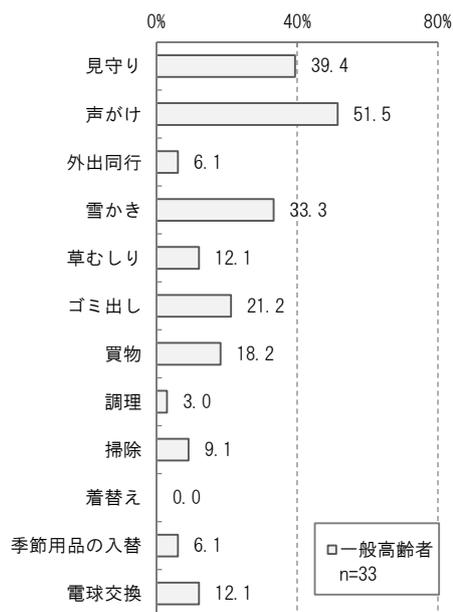
出羽地区



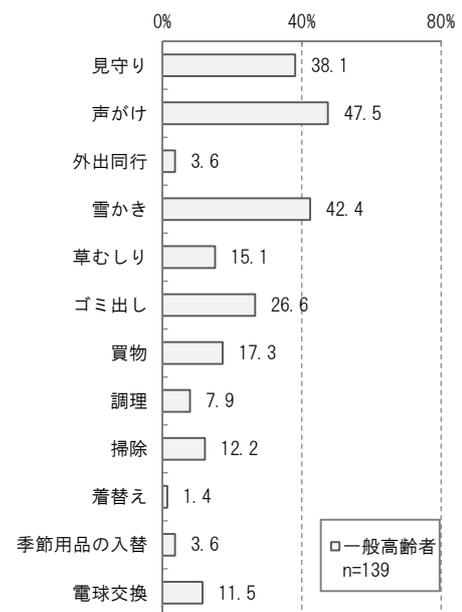
大郷地区



明治地区



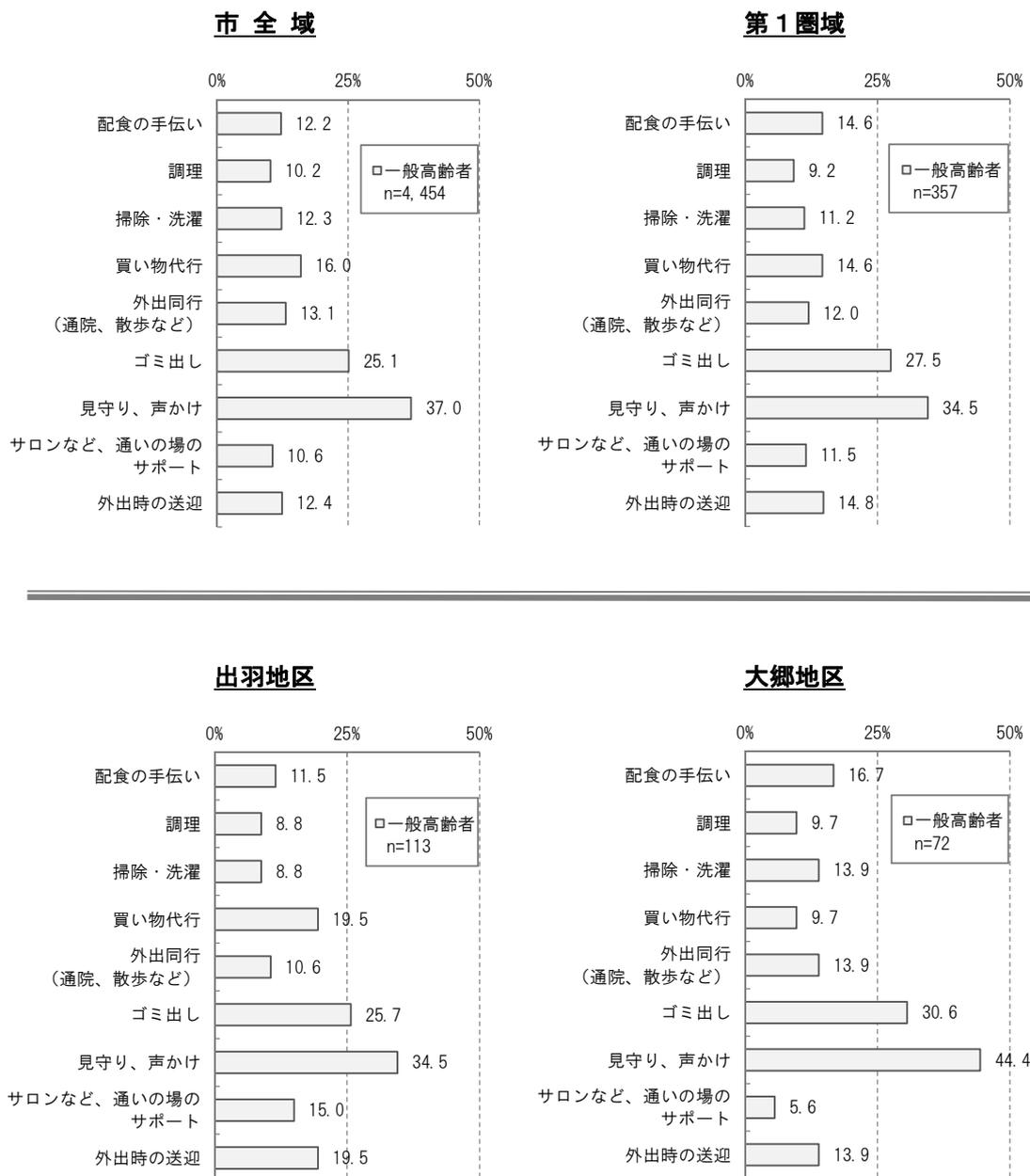
千歳地区

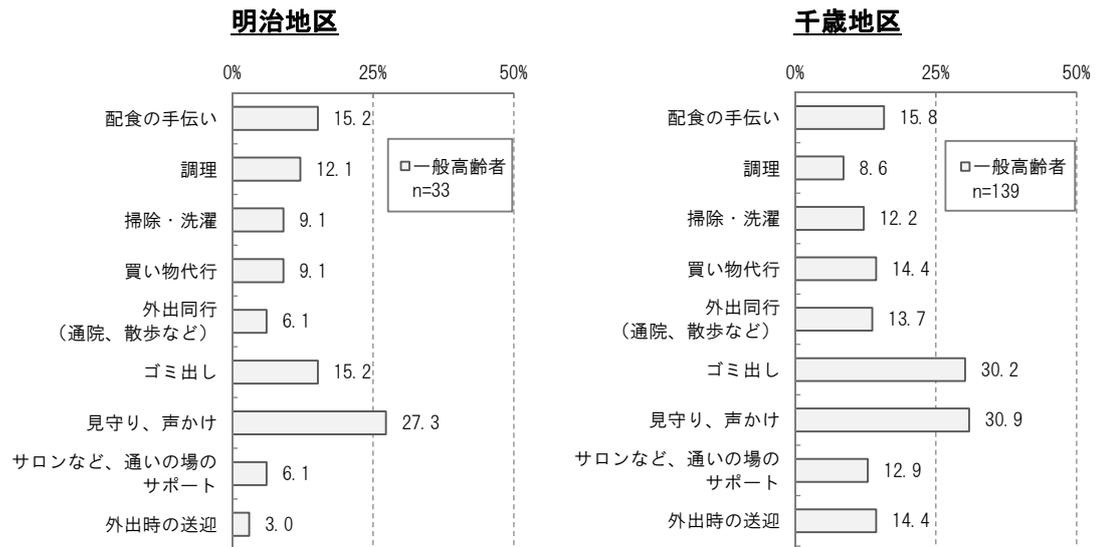


(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

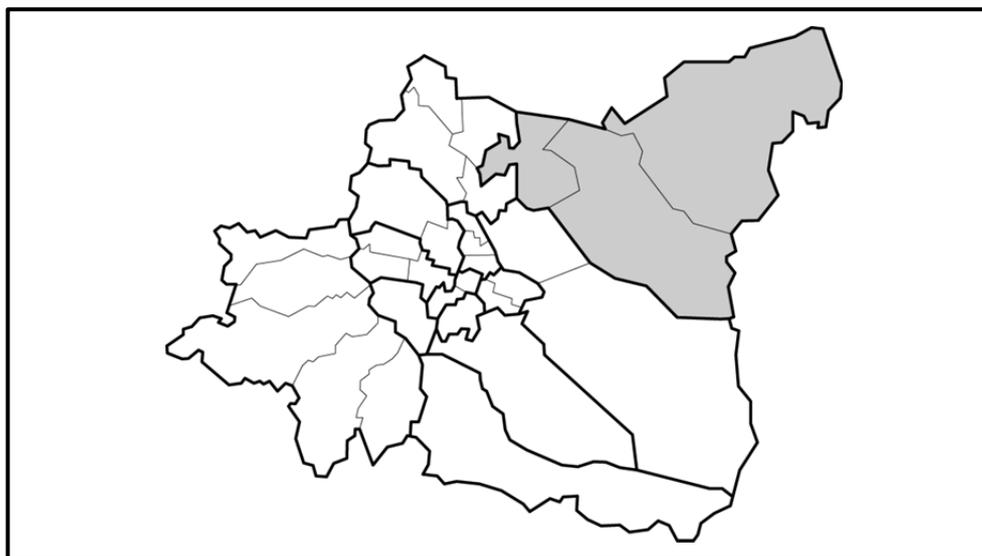
○〈第1圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで〈出羽地区〉〈大郷地区〉〈千歳地区〉では「ゴミ出し」、〈明治地区〉では「配食の手伝い」「ゴミ出し」となっています。

図 2-1.10 高齢者の地域支援意向





II 「第2圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第2圏域	9,857	3,642	36.9	1,683	1,959	53.8
楯山地区	4,937	1,742	35.3	843	899	51.6
高瀬地区	3,684	1,386	37.6	606	780	56.3
山寺地区	1,236	514	41.6	234	280	54.5

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第2圏域	3,014	134	494	17.2	265	7.3
楯山地区	1,509	58	175	13.4	83	4.8
高瀬地区	1,080	49	257	22.1	155	11.2
山寺地区	425	27	62	17.3	27	5.3

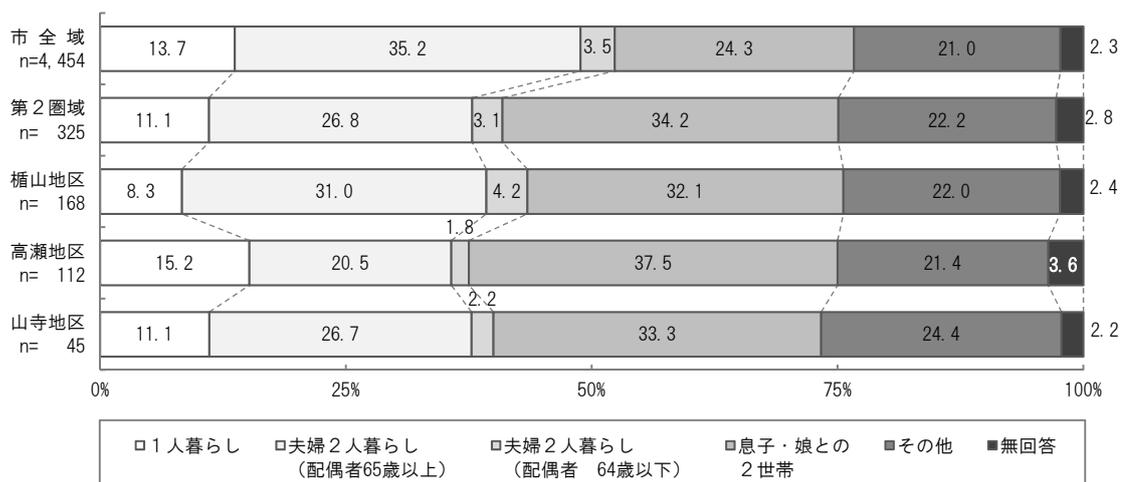
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
1カ所	5カ所	3カ所	3カ所	1カ所	5カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
4カ所	1カ所	19カ所	2カ所	6カ所	4カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第2圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、全ての地区で「息子・娘との2世帯」(32.1~37.5%)が最も高くなっています。

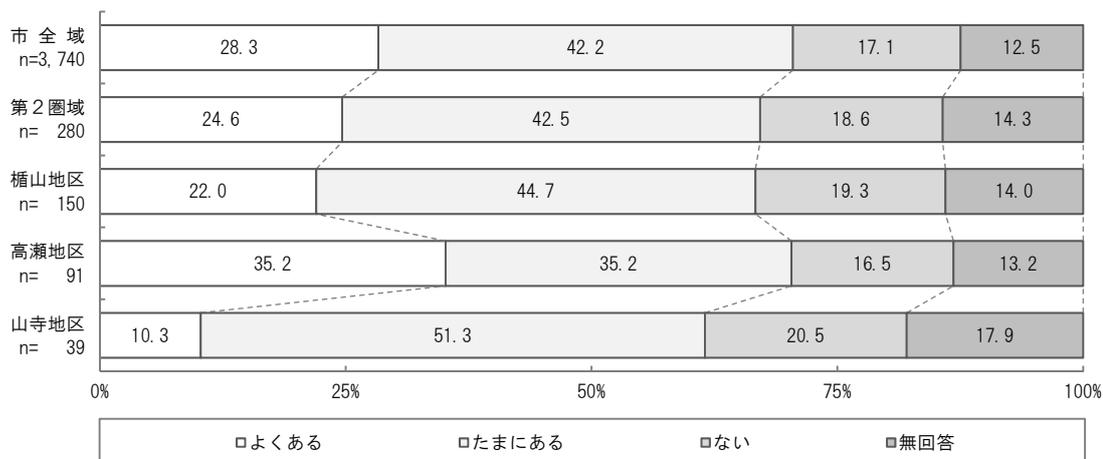
図 2-2.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第2圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈高瀬地区〉を除いた地区で「たまにある」(51.3~44.7%)、〈高瀬地区〉で「よくある」(各35.2%)が最も高くなっています。

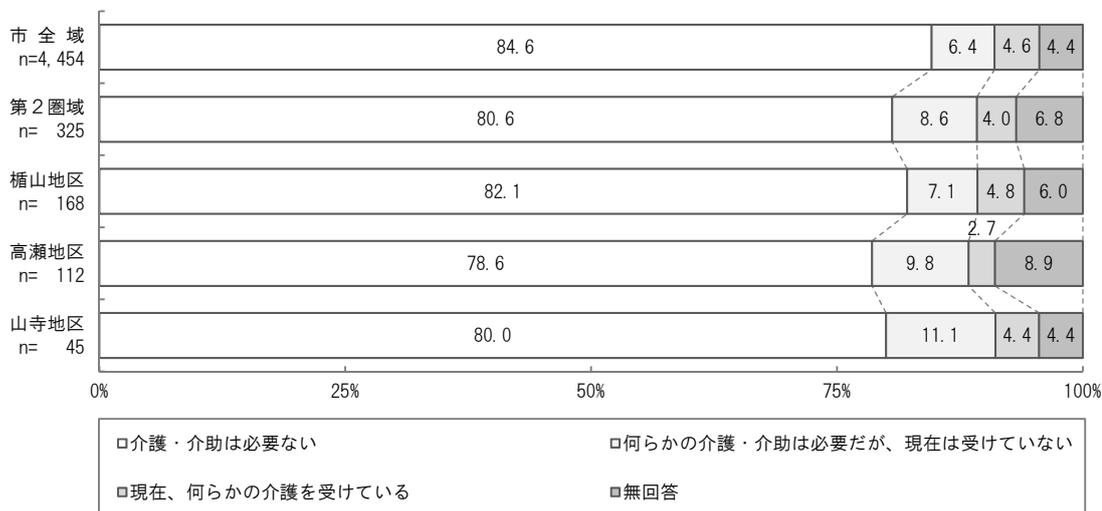
図 2-2.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第2圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況を地区別にみると、全ての地区で「介護・介助は必要ない」（78.6～82.1％）が最も高くなっています。

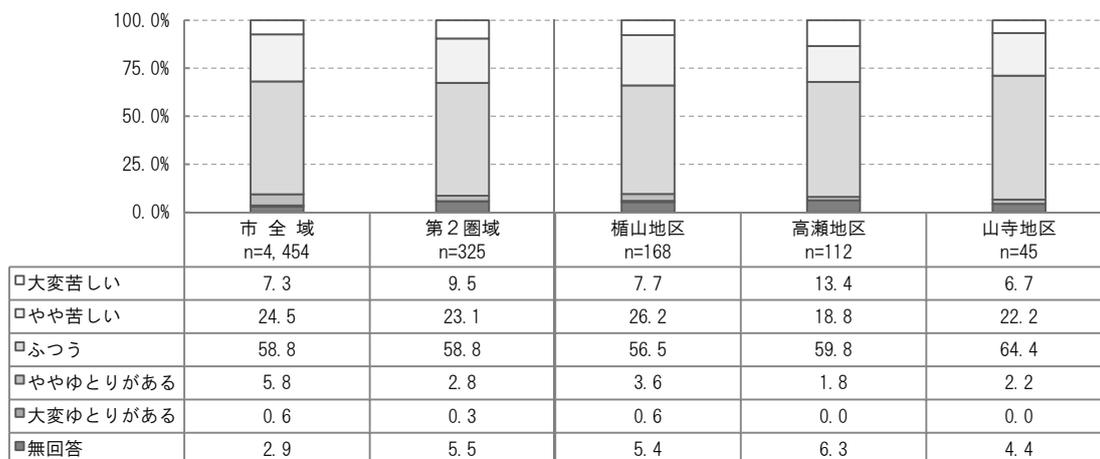
図 2-2.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第2圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況を地区別にみると、全ての地区で「ふつう」（56.5～64.4％）が最も高くなっています。〈第2圏域〉の「ややゆとりがある」「大変ゆとりがある」を合わせた割合が6.4%となっている一方で、「やや苦しい」「大変苦しい」を合わせた割合が31.8%と高くなっています。

図 2-2.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像” からみた地域分析

○〈第2圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、介護予防事業対象者では全ての地区で市平均値を上回っています。サービス事業対象者では〈楯山地区〉で市平均値を上回っています。健康高齢者は全ての地区で市平均値を下回っています。

図 2-2.5 3つの高齢者像別出現率

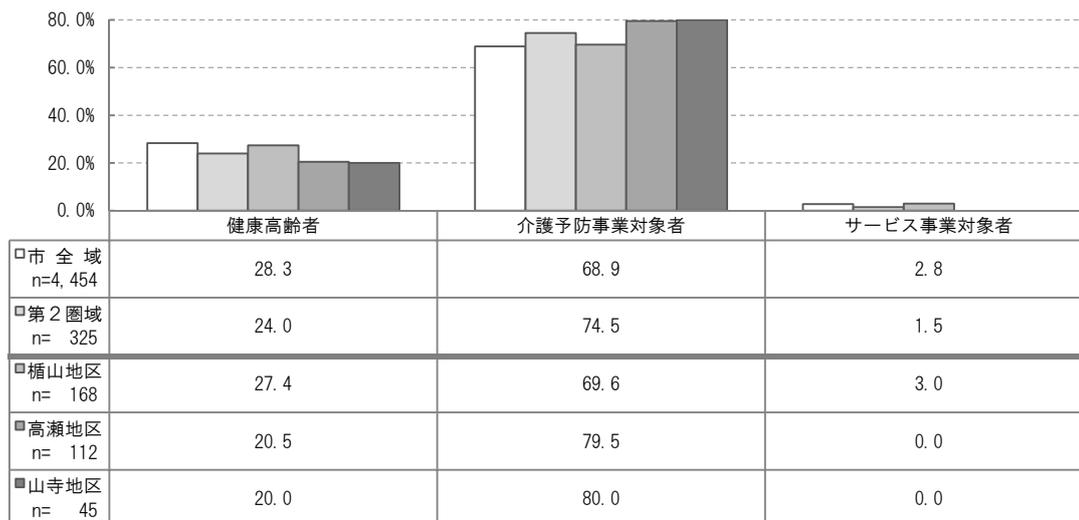
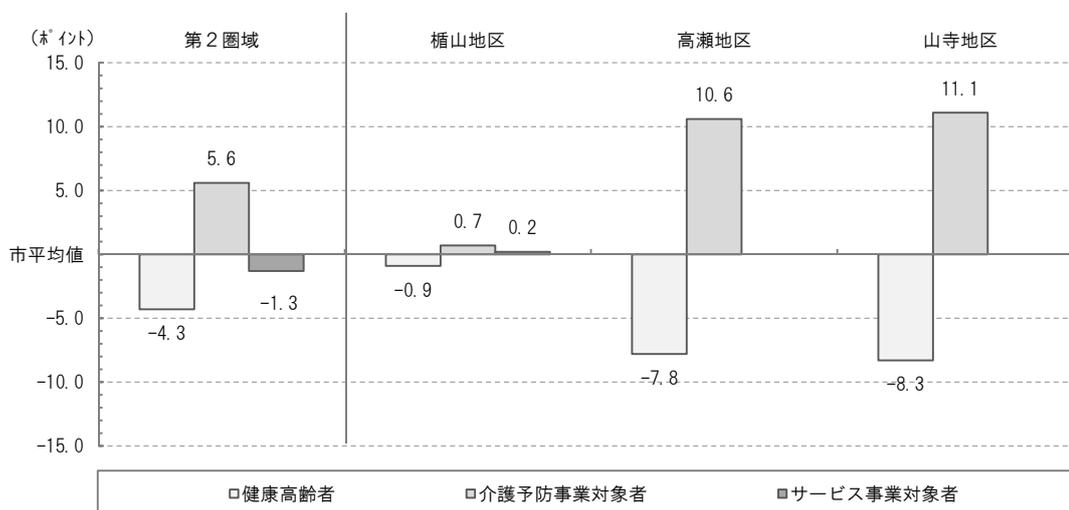


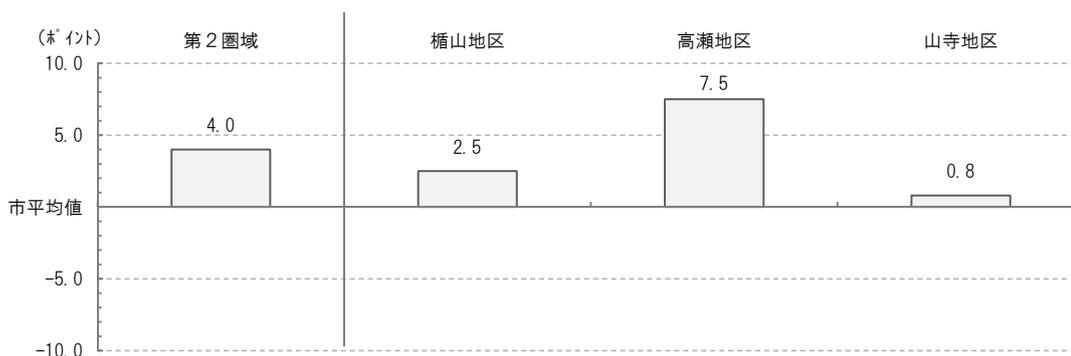
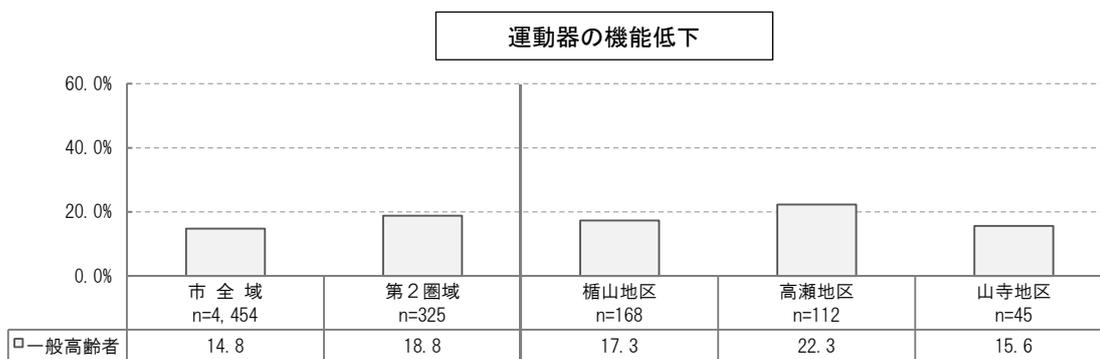
図 2-2.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



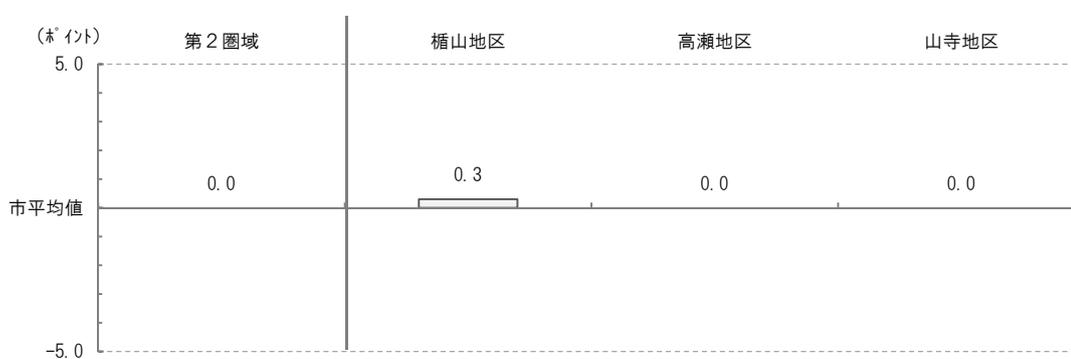
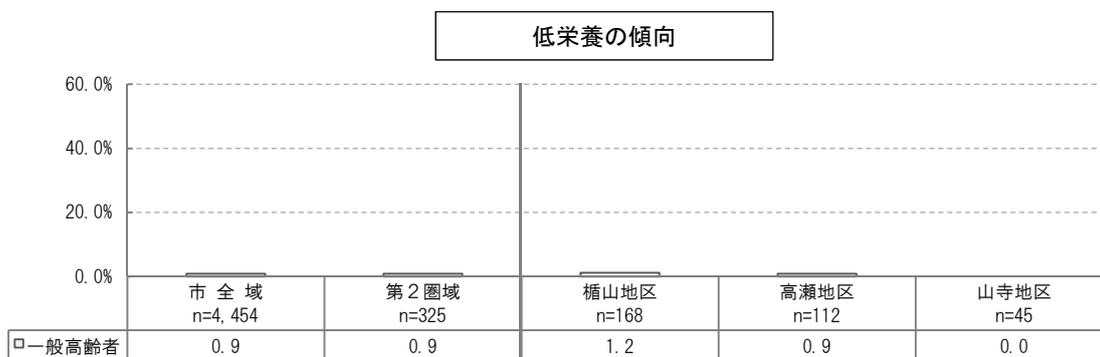
3 リスク別該当者の予測

○〈第2圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈高瀬地区〉で市平均値より7.5ポイント、〈楯山地区〉では2.5ポイント、〈山寺地区〉では0.8ポイント高く、各地区の出現率は15.6～22.3%で、地区差の最大値は6.7ポイントとなっています。

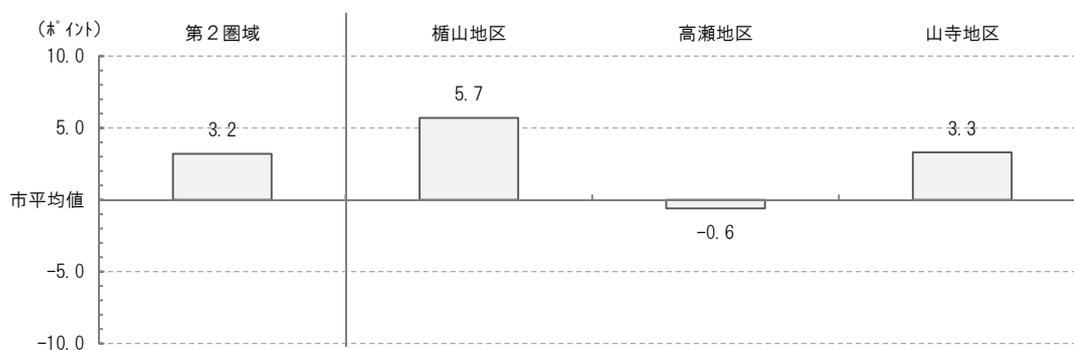
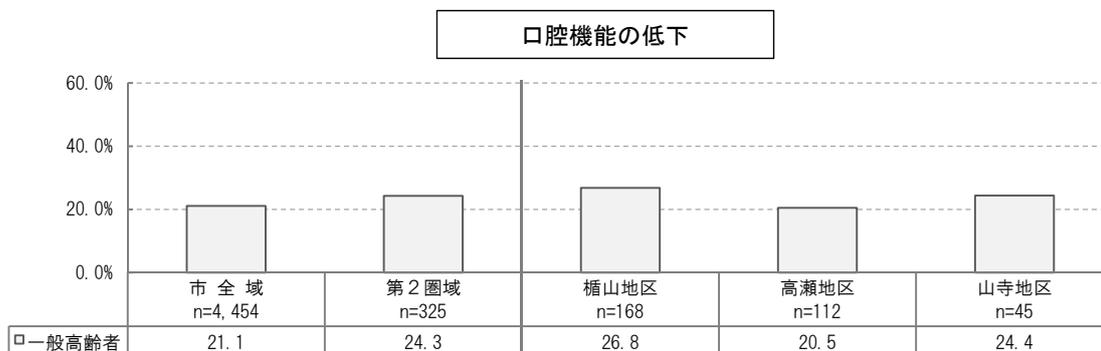
図 2-2.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



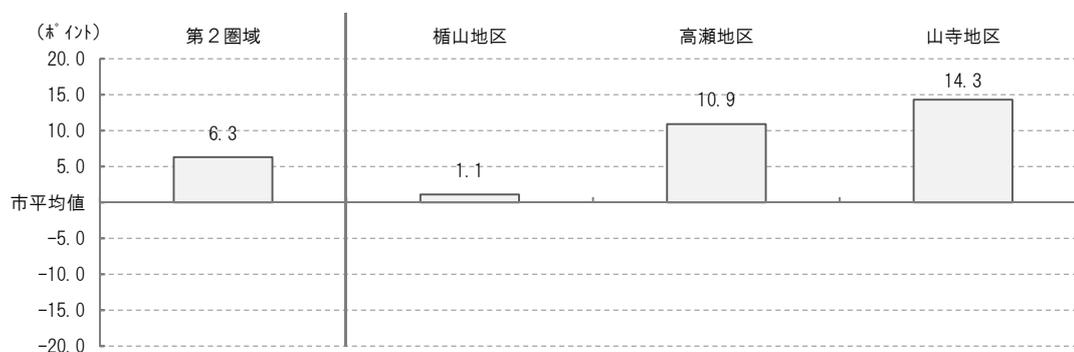
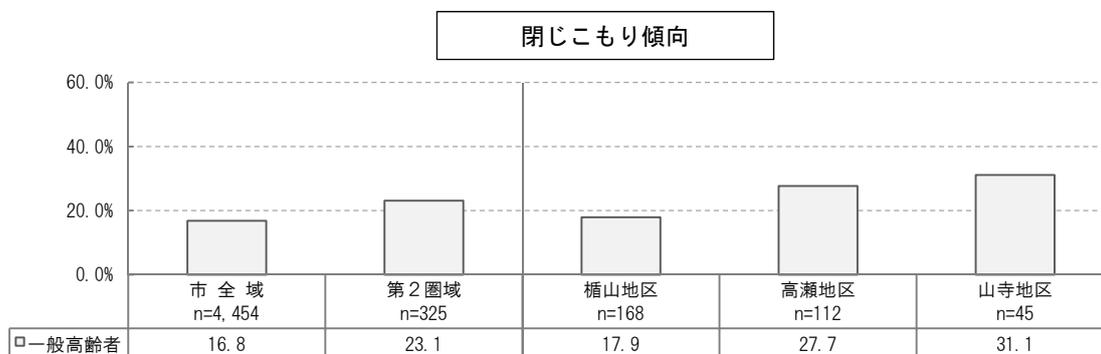
○ 〈第2圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈楯山地区〉で市平均値より0.3ポイント高く、各地区の出現率は0.0～1.2%で、地区差の最大値は1.2ポイントとなっています。



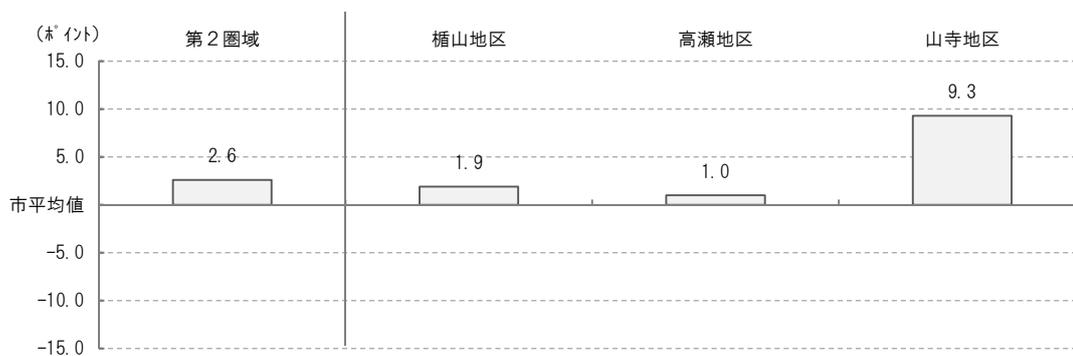
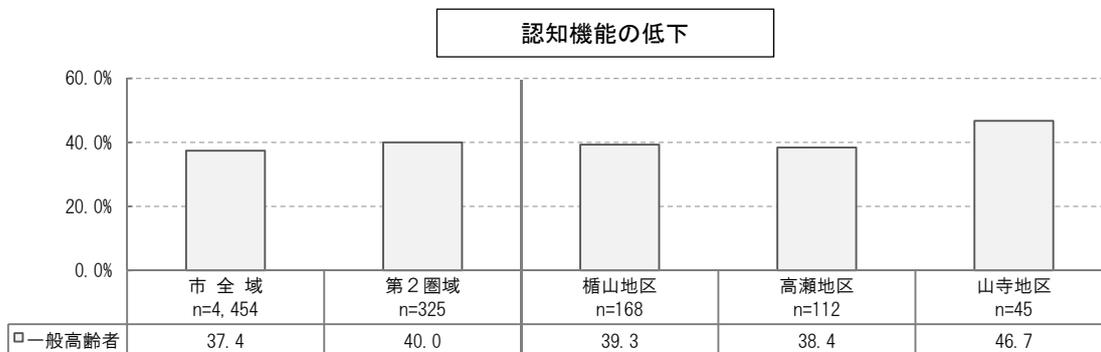
○ 〈第2圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当者出現率の地域差を地区別にみると、〈楯山地区〉で市平均値より5.7ポイント、〈山寺地区〉で3.3ポイント高く、各地区の出現率は20.5～26.8%で、地区差の最大値は6.3ポイントとなっています。



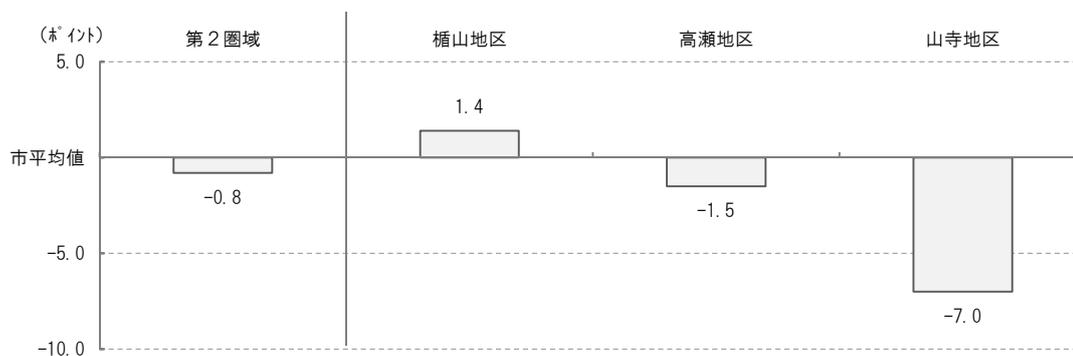
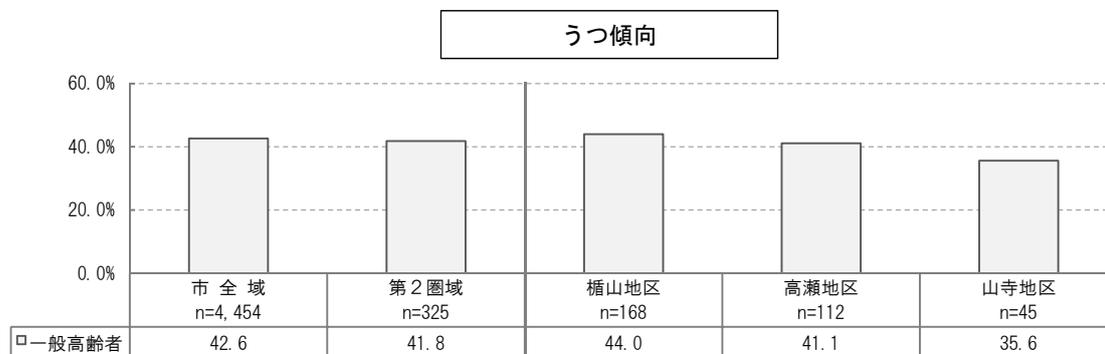
○ 〈第2圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈山寺地区〉で市平均値より14.3ポイント、〈高瀬地区〉で10.9ポイント、〈楯山地区〉で1.1ポイント高く、各地区の出現率は17.9～31.1%で、地区差の最大値は13.2ポイントとなっています。



○〈第2圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈山寺地区〉で市平均値より9.3ポイント、〈高瀬地区〉で1.0ポイント、〈楯山地区〉で1.9ポイント、〈高瀬地区〉で1.0ポイント高く、各地区の出現率は38.4～46.7%で、地区差の最大値は8.3ポイントとなっています。



○ 〈第2圏域〉の「うつ傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈楯山地区〉で市平均値より1.4ポイント高く、〈山寺地区〉で市平均値より7.0ポイント、〈高瀬地区〉で1.5ポイント低くなっています。各地区の出現率は35.6～44.0%で、地区差の最大値は8.4ポイントとなっています。

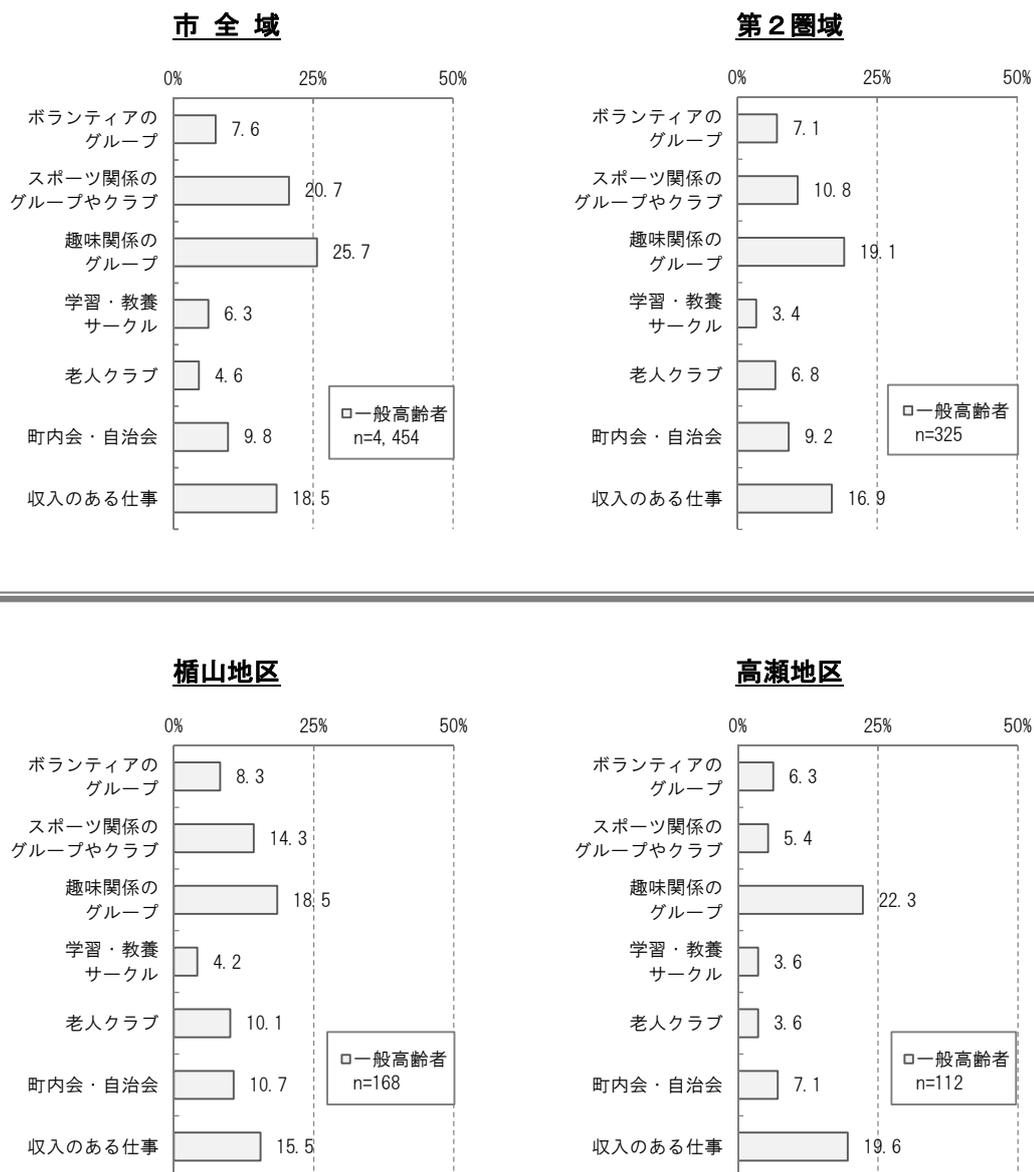


4 地域資源等の把握

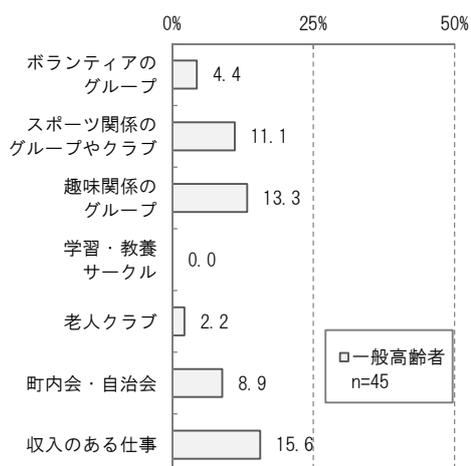
(1) 地域活動への参加状況

○〈第2圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、〈楯山地区〉〈高瀬地区〉で「趣味関係のグループ」、〈山寺地区〉で「収入のある仕事」が最も高くなっています。

図 2-2.8 地域活動への参加状況



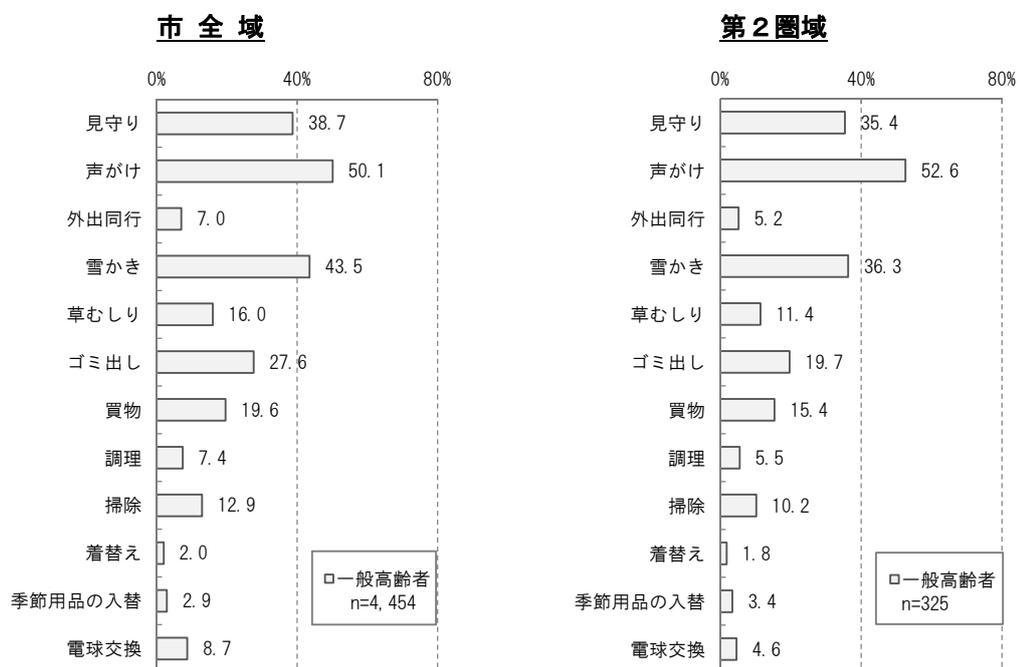
山寺地区



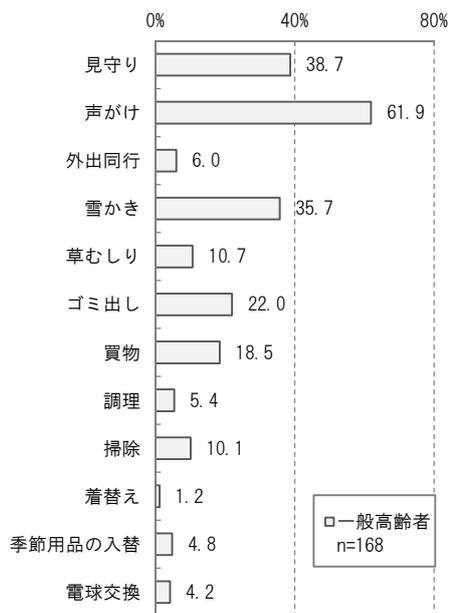
(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第2圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、全ての地区で「声かけ」が最も高く、次いで〈楯山地区〉〈山寺地区〉で「見守り」、〈高瀬地区〉で「雪かき」となっています。

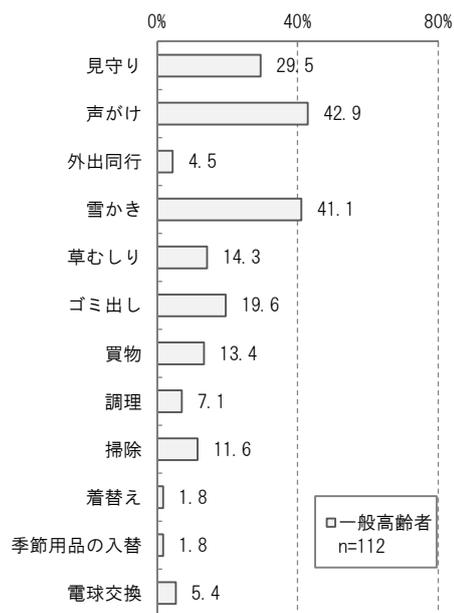
図 2-2.9 近隣住民をお願いしたい支援



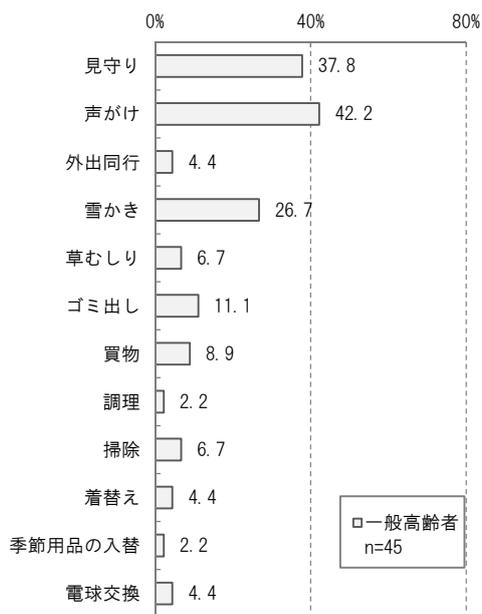
楯山地区



高瀬地区



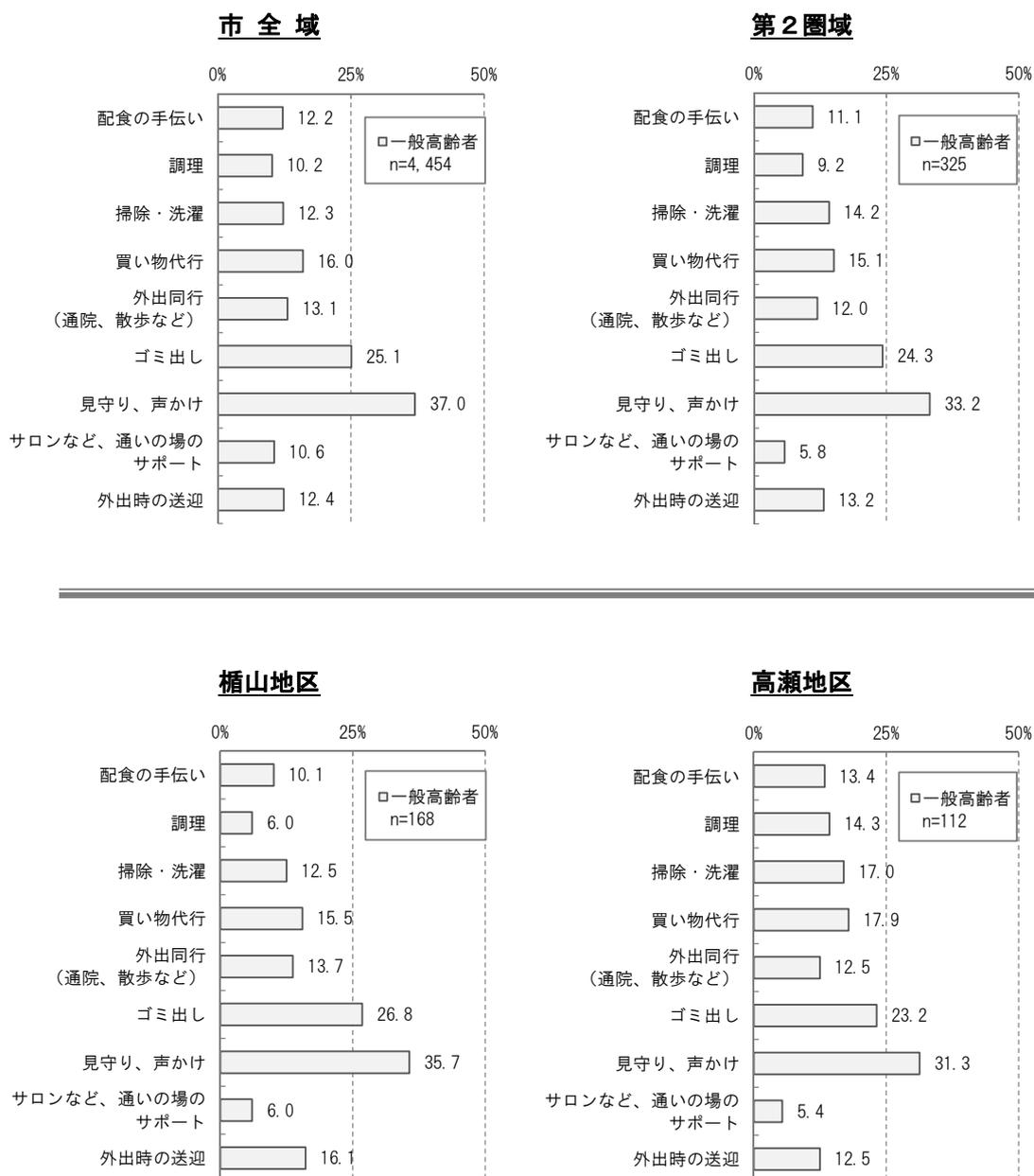
山寺地区



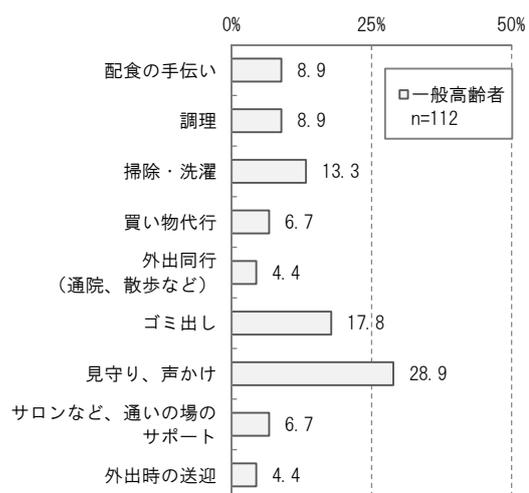
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第2圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」の順となっています。

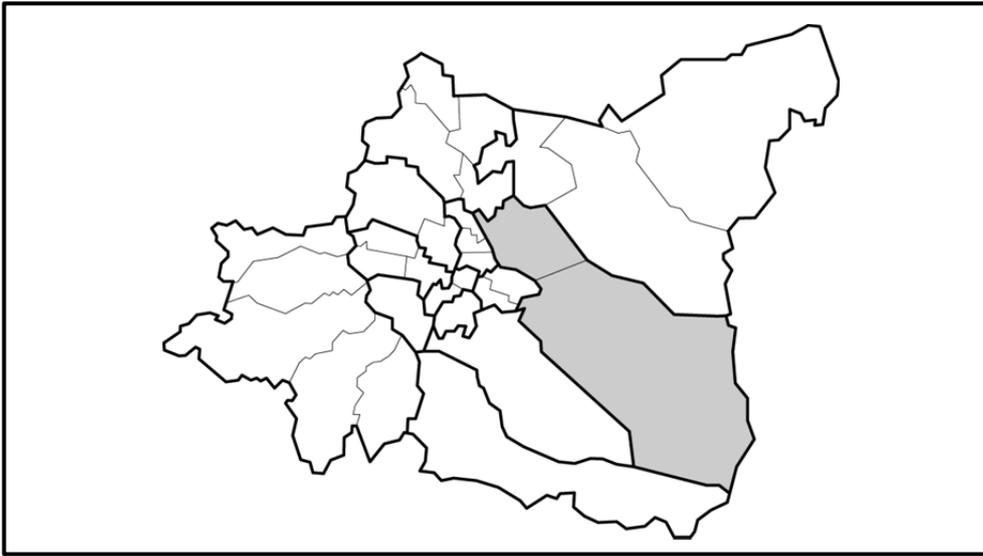
図 2-2.10 高齢者の地域支援意向



山寺地区



Ⅲ 「第3圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第3圏域	23,947	6,867	28.7	3,365	3,502	51.0
東沢地区	4,875	1,530	31.4	754	776	50.7
鈴川地区	19,072	5,337	28.0	2,611	2,726	51.1

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第3圏域	5,793	277	797	15.6	340	5.0
東沢地区	1,239	56	235	19.0	130	8.5
鈴川地区	4,554	221	562	14.7	210	3.9

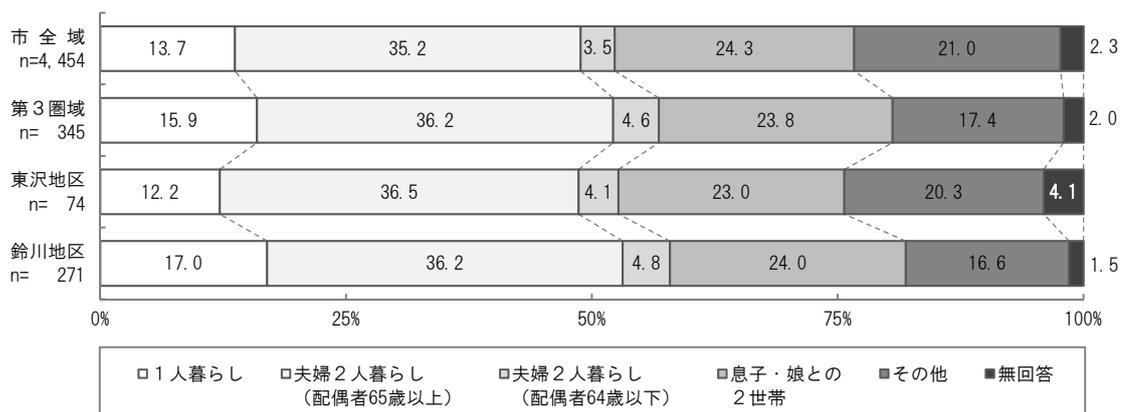
地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
1カ所	13カ所	3カ所	11カ所	10カ所	9カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
2カ所	1カ所	28カ所	1カ所	11カ所	14カ所

1 家族構成や介護・生活状況

(1) 家族構成

○〈第3圏域〉における一般高齢者の家族構成を地区別にみると、〈東沢地区〉〈鈴川地区〉ともに「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（36.5%・36.2%）が最も高くなっています。

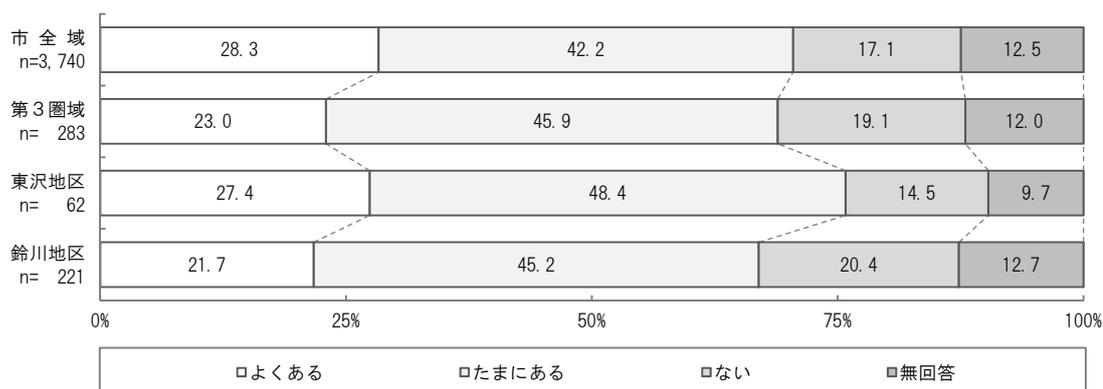
図 2-3.1 家族構成



(2) 日中独居の状況

○〈第3圏域〉において一般高齢者が日中、一人になることがあるかを地区別にみると、〈東沢地区〉〈鈴川地区〉ともに「たまにある」（48.4%・45.2%）が最も高くなっています。

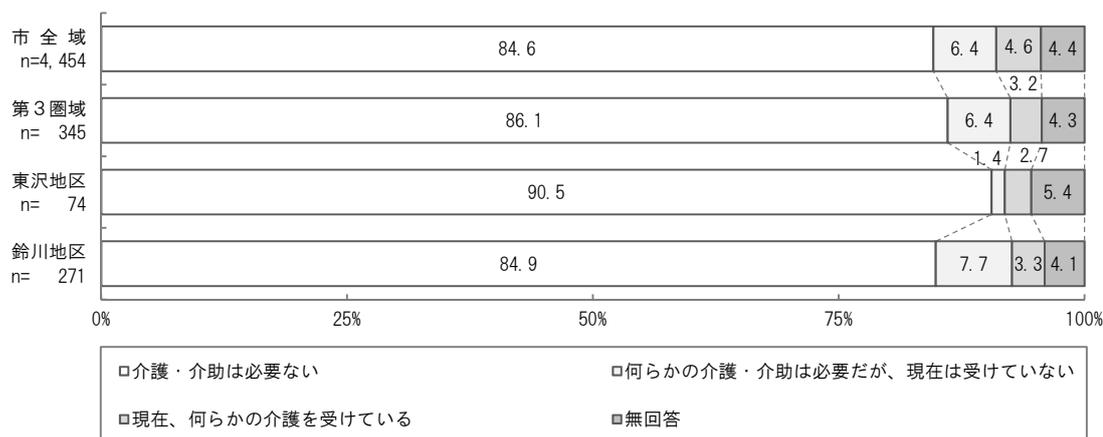
図 2-3.2 日中、一人になることがあるか



(3) 日常生活における介護（介助）の状況

○〈第3圏域〉で一般高齢者の日常生活における介護・介助の状況をみると、〈東沢地区〉〈鈴川地区〉ともに「介護・介助は必要ない」（90.5%・84.9%）が最も高くなっています。

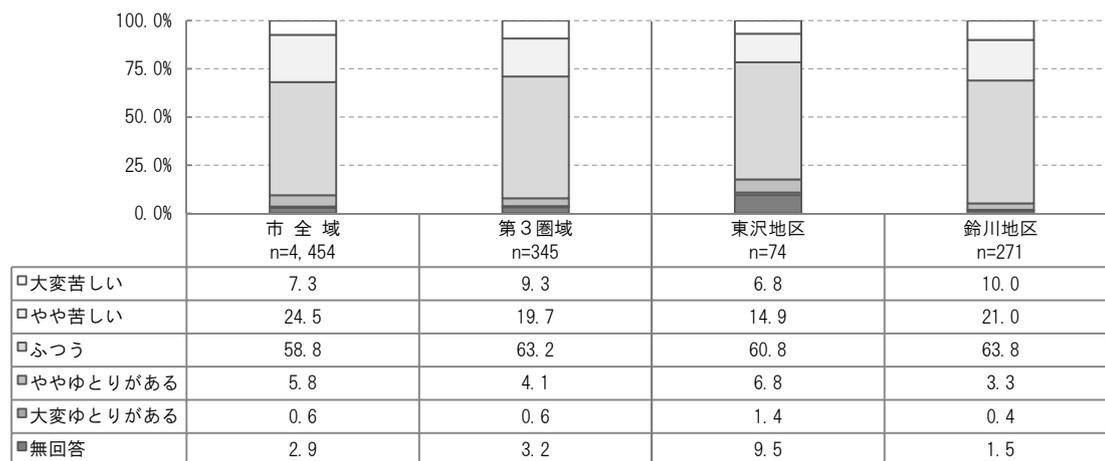
図 2-3.3 介護（介助）の状況



(4) 現在の経済状況

○〈第3圏域〉における一般高齢者の現在の経済的状況をみると、〈東沢地区〉〈鈴川地区〉ともに「ふつう」（60.8%・63.8%）が最も高くなっています。

図 2-3.4 経済的にみた暮らしの状況



2 “3つの高齢者像”からみた地域分析

- 〈第3圏域〉の一般高齢者において3つの高齢者像別出現率の地域差を地区別にみると、健康高齢者では〈東沢地区〉〈鈴川地区〉で市平均値を上回っています。介護予防事業対象者・サービス事業対象者では〈東沢地区〉〈鈴川地区〉ともに市平均値を下回っています。

図 2-3.5 3つの高齢者像別出現率

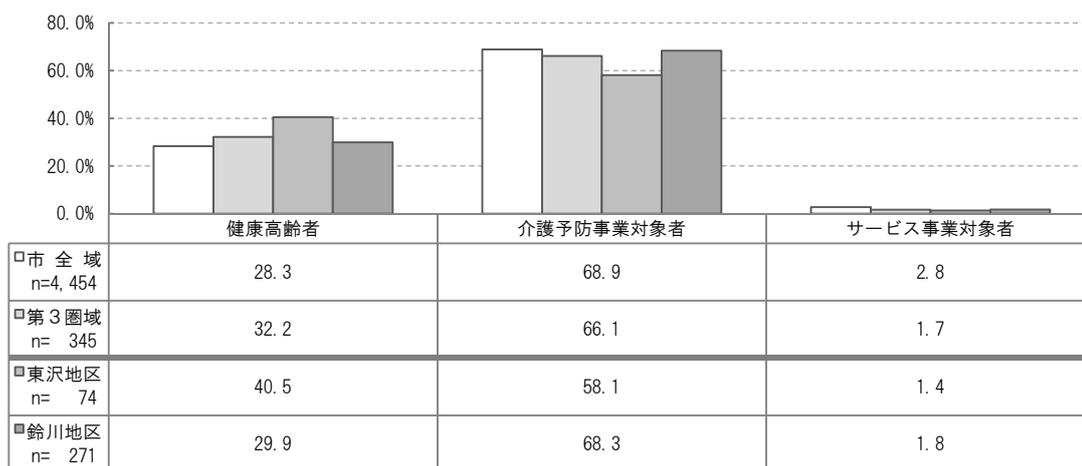
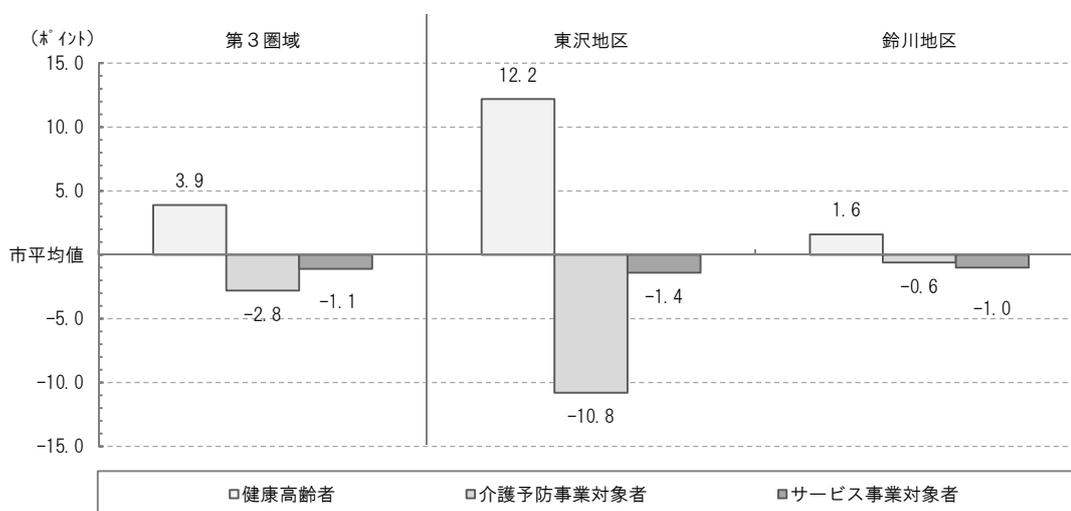


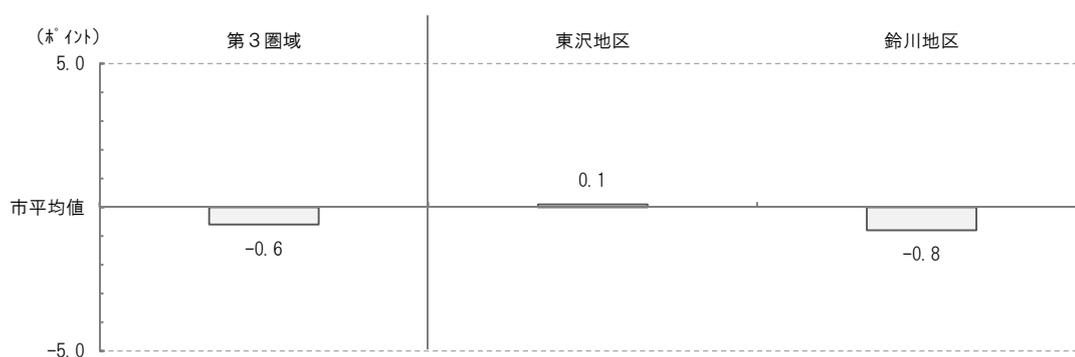
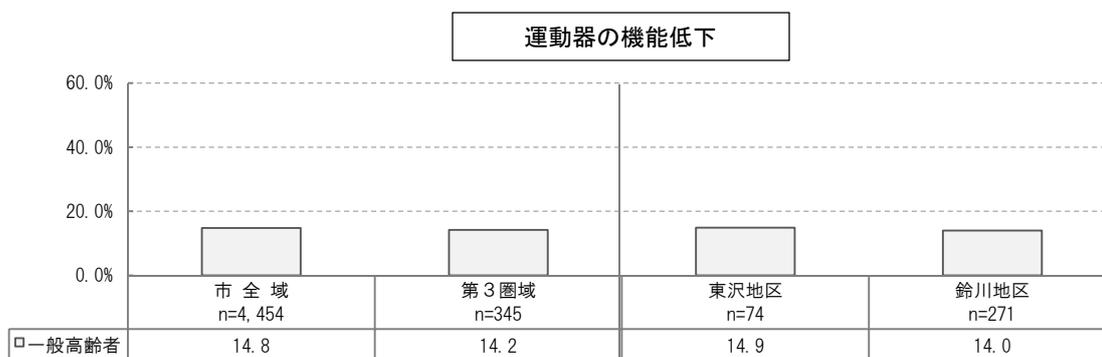
図 2-3.6 3つの高齢者像別出現率の地域差



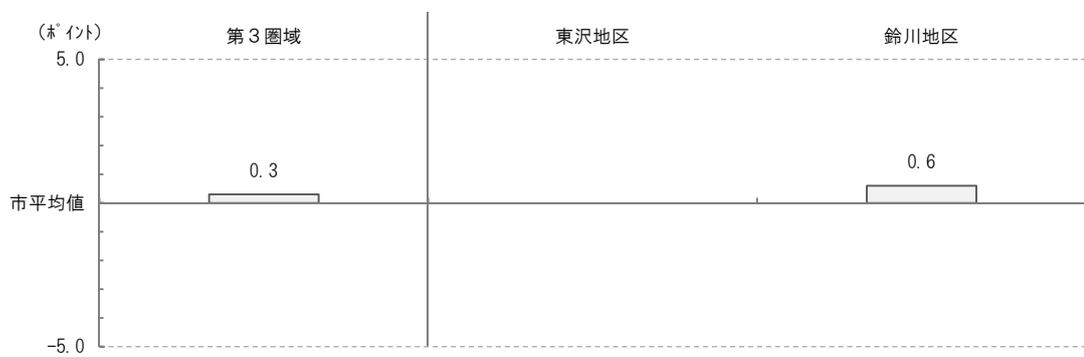
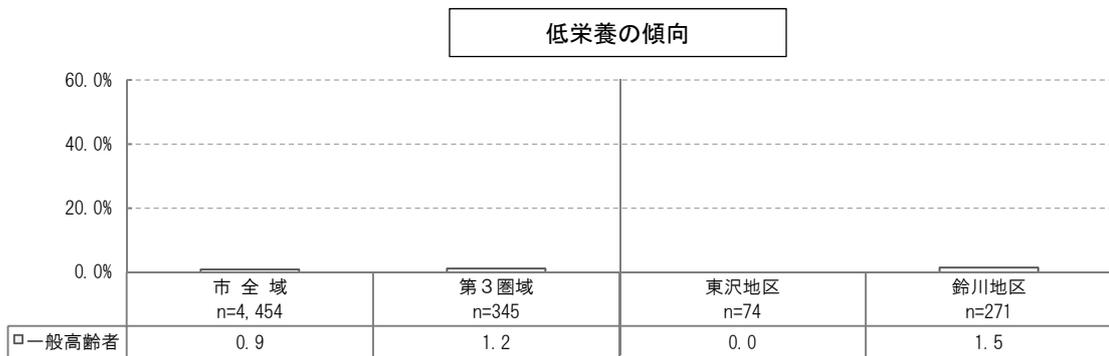
3 リスク別該当者の予測

○〈第3圏域〉の「運動器の機能低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈東沢地区〉で市平均値より0.1ポイント高く、各地区の出現率（14.0・14.9％）の差は0.9ポイントとなっています。

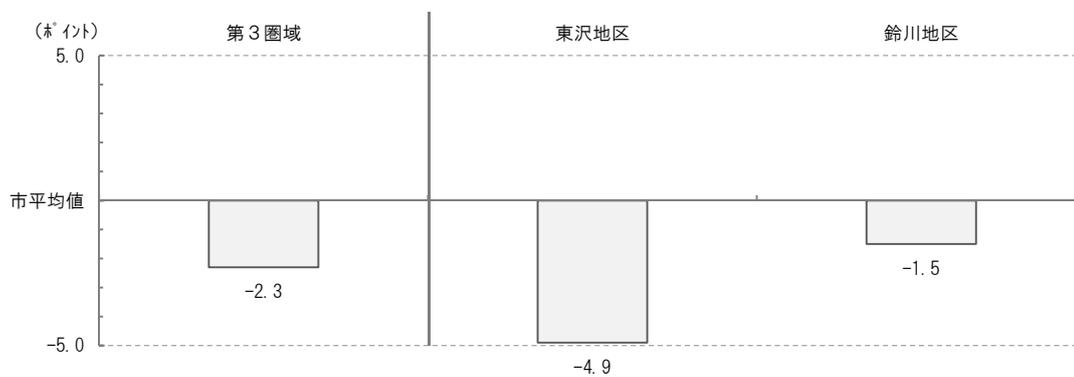
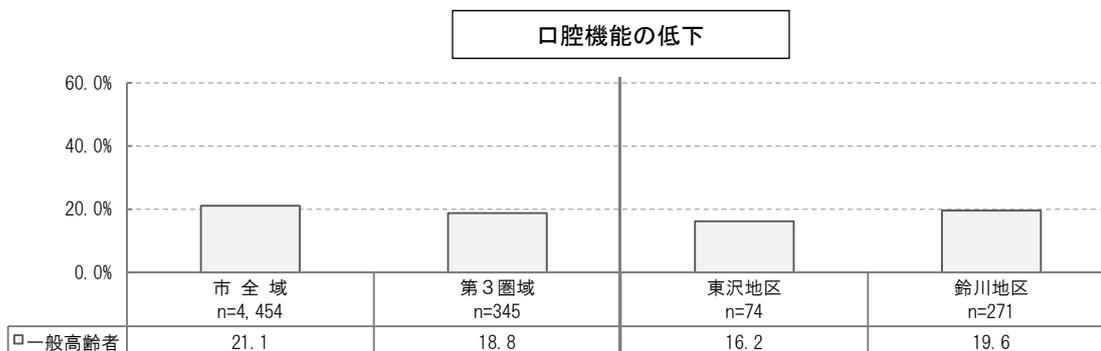
図 2-3.7 リスクに該当する高齢者の出現率と地域差



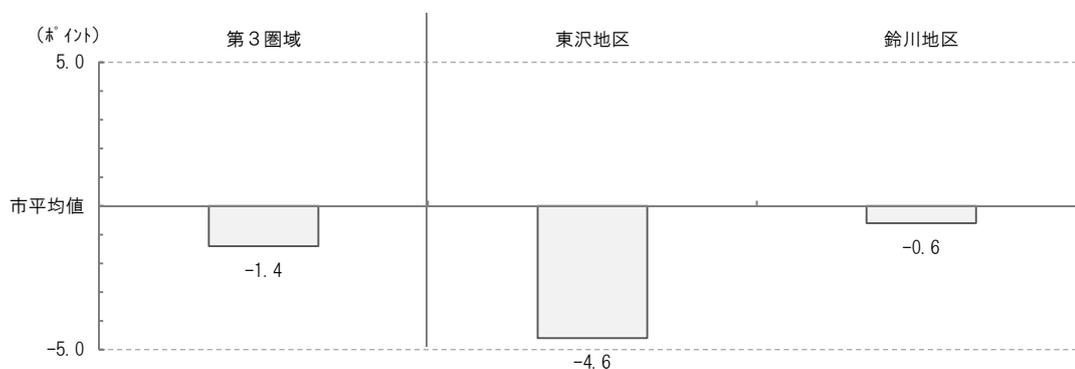
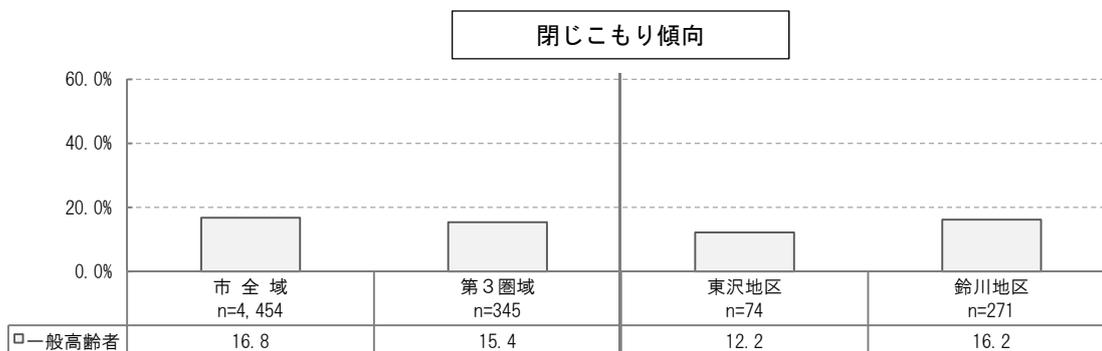
○〈第3圏域〉の「低栄養の傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈鈴川地区〉で市平均値より0.6ポイント高くなっています。



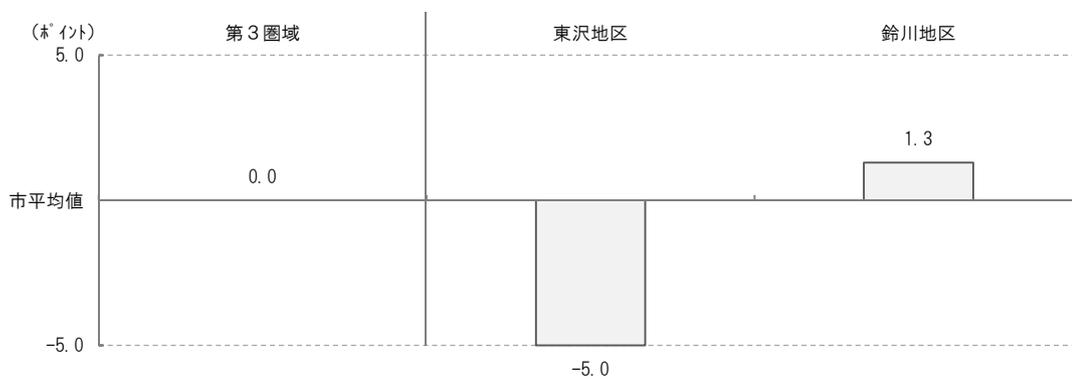
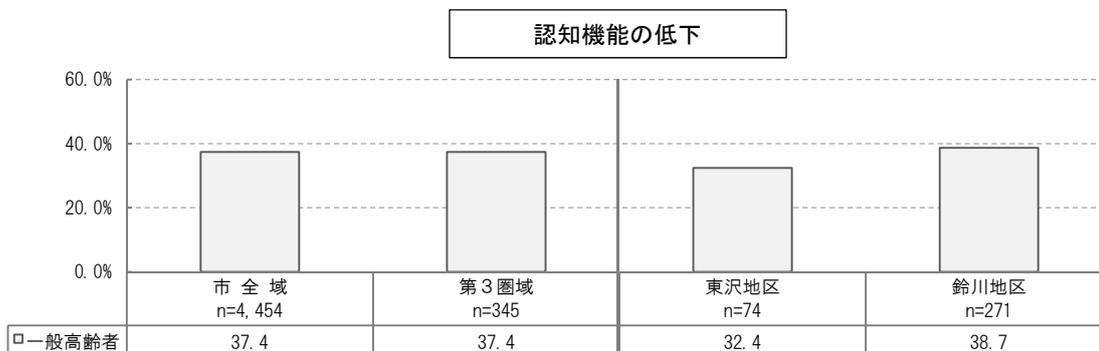
○ 〈第3圏域〉の「口腔機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、市平均値を上回る地区はなく、各地区の出現率（16.2・19.6%）の差は3.4ポイントとなっています。



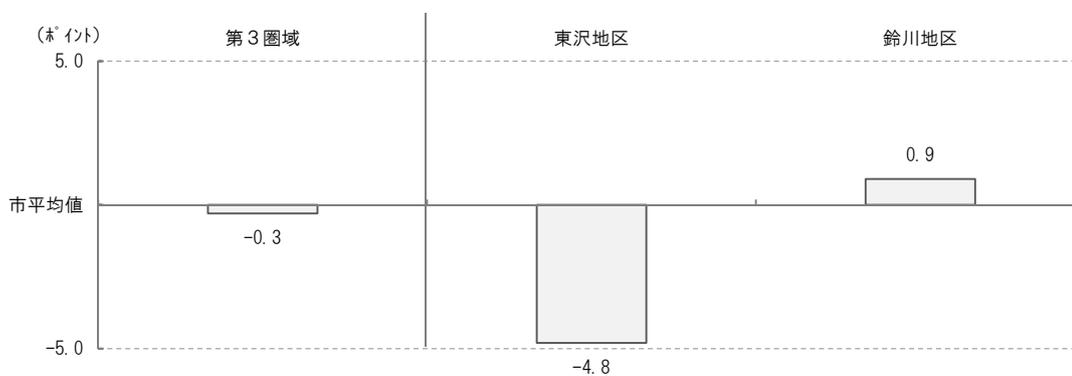
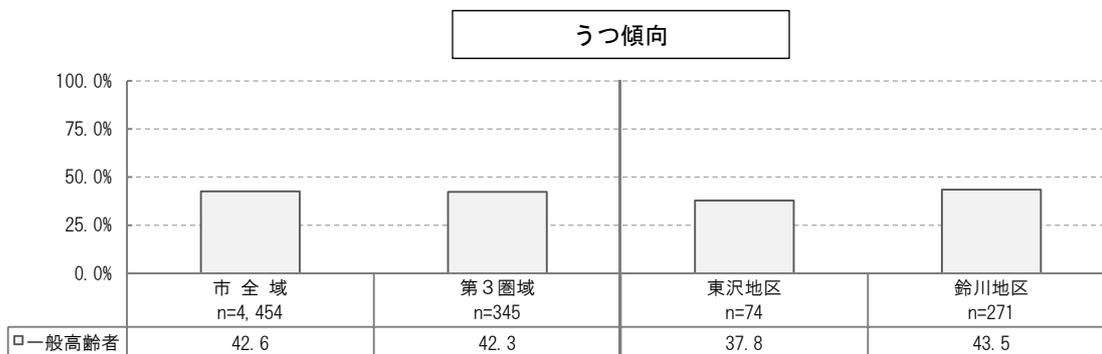
○ 〈第3圏域〉の「閉じこもり傾向」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、市平均値を上回る地区はなく、各地区の出現率（12.2・16.2%）の差は4.0ポイントとなっています。



○ 〈第3圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈鈴川地区〉で市平均値より1.3ポイント高く、各地区の出現率（32.4・38.7%）の差は6.3ポイントとなっています。



○ 〈第3圏域〉の「認知機能の低下」リスク該当高齢者出現率の地域差を地区別にみると、〈鈴川地区〉で市平均値より0.9ポイント高く、各地区の出現率（37.8・43.5%）の差は5.7ポイントとなっています。

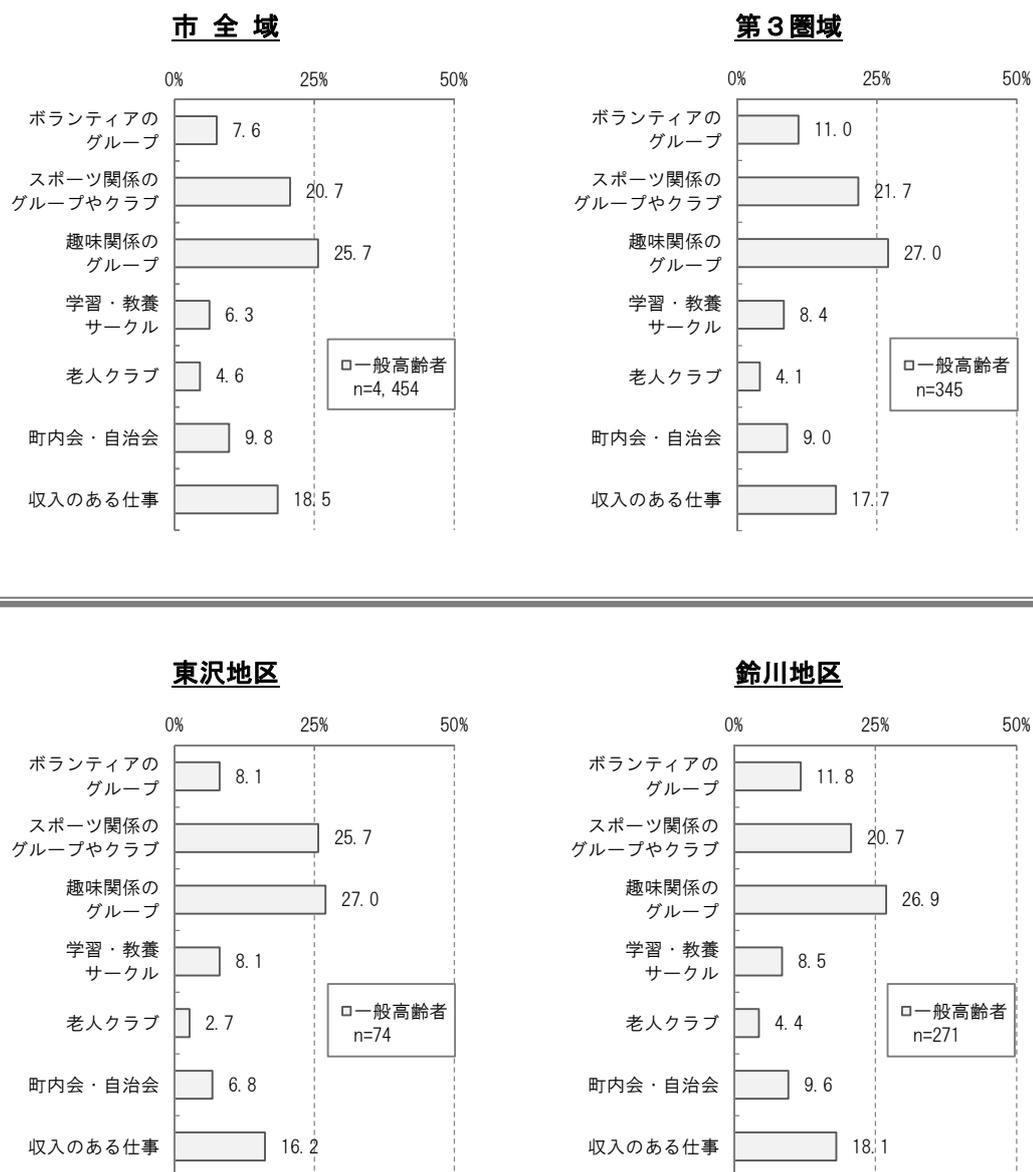


4 地域資源等の把握

(1) 地域活動への参加状況

○〈第3圏域〉における一般高齢者の地域活動への参加状況を地区別にみると、全ての地区で「趣味関係のグループ」が最も高くなっています。

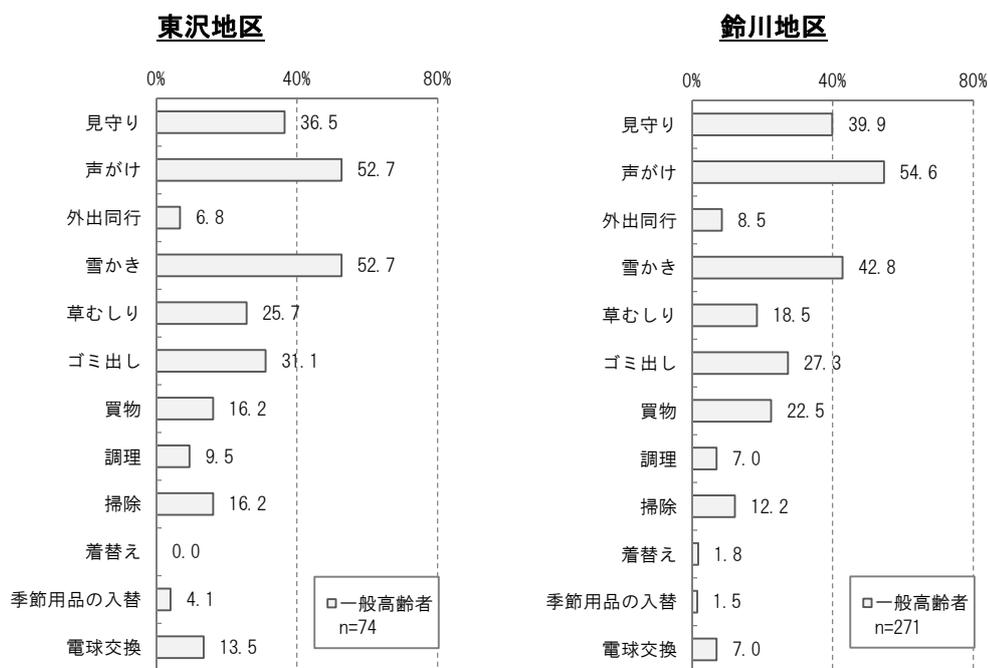
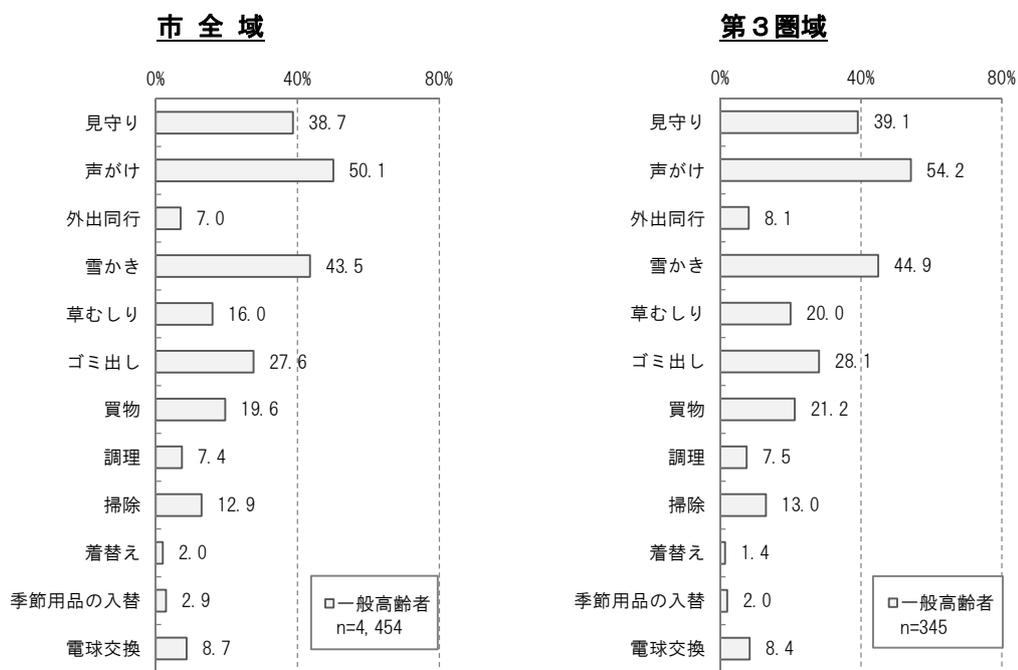
図 2-3.8 地域活動への参加状況



(2) 地域に期待する支援（サービス）

○〈第3圏域〉で一般高齢者が近隣の人をお願いしたい支援項目を地区別にみると、全ての地区で「声かけ」が最も高く、次いで「雪かき」となっています。

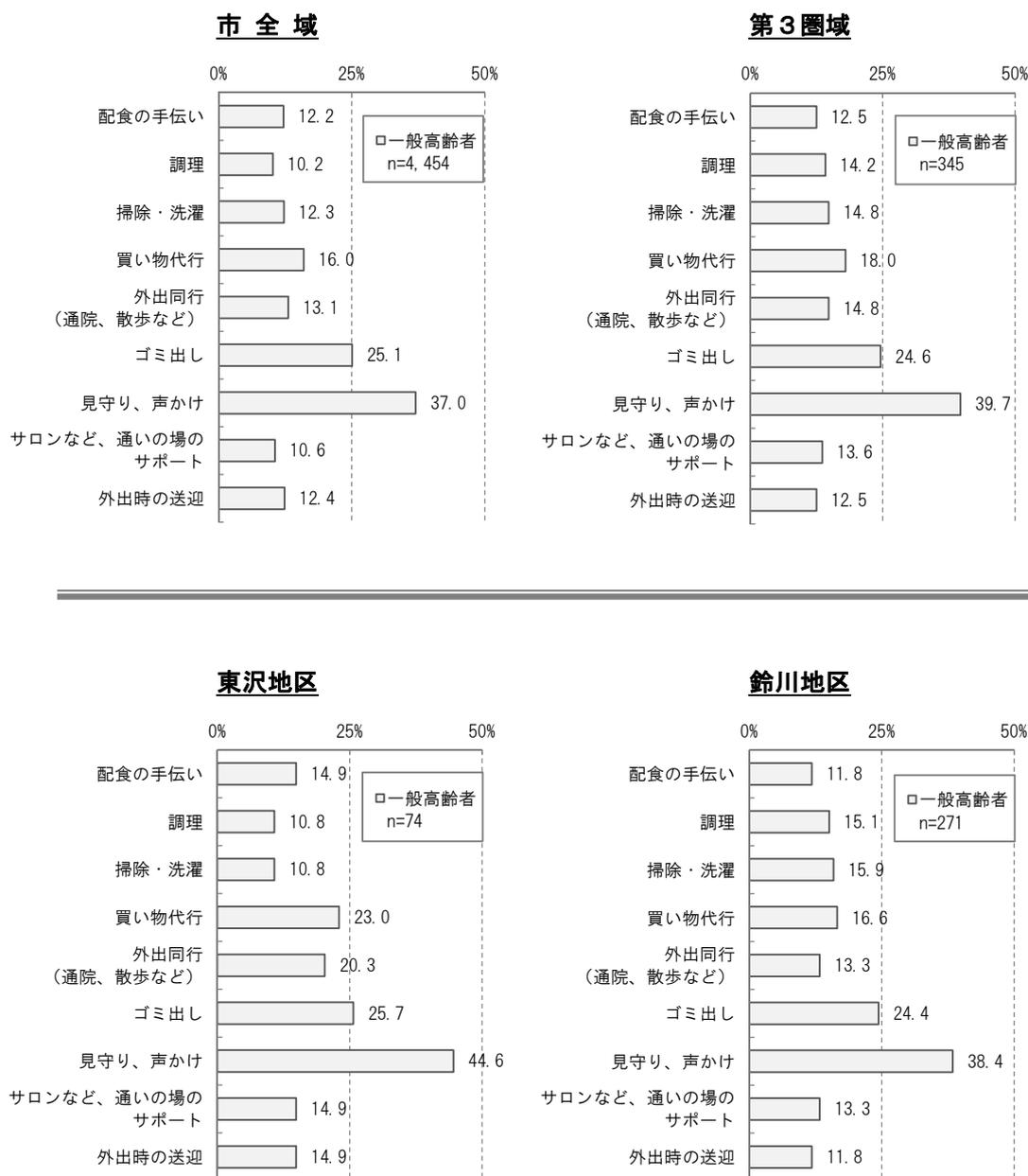
図 2-3.9 近隣住民をお願いしたい支援



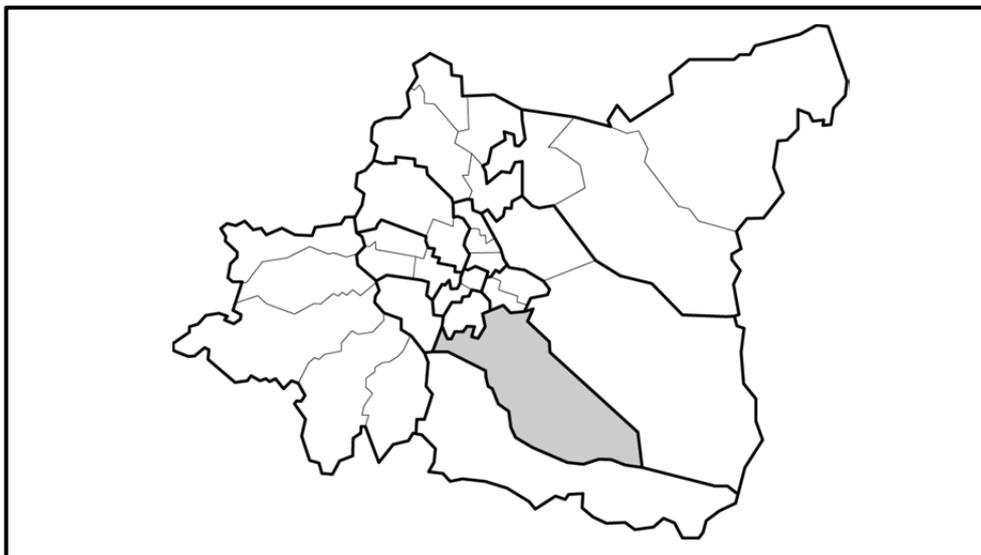
(3) 住んでいる地域で高齢者が支援できるもの（サービス）

○〈第3圏域〉で一般高齢者が支援できると回答したサービスを地区別にみると、全ての地区で「見守り、声かけ」が最も高く、次いで「ゴミ出し」となっています。

図 2-3.10 高齢者の地域支援意向



IV 「第4圏域」



地区名	総人口 (人)	高齢者人口 (人)	高齢化率 (%)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢者 比率(%)
第4圏域	23,996	5,739	23.9	2,870	2,869	50.0
滝山地区	23,996	5,739	23.9	2,870	2,869	50.0

地区名	一般高齢者 (人)	要支援認定者 (人)	要介護認定者 (人)	認定率 (%)	重度認定者 (要介護3~5) (人)	重度認定者 認定率 (%)
第4圏域	4,870	207	662	15.1	265	4.6
滝山地区	4,870	207	662	15.1	265	4.6

地域資源					
病院	診療所	訪問診療	歯科診療所	(居宅)訪問系 サービス	(居宅)通所系 サービス
0カ所	17カ所	4カ所	7カ所	12カ所	8カ所
(居宅)短期系 サービス	(居宅)居住系 サービス	(居宅)その他 サービス	施設系 サービス	地域密着型 サービス	総合事業 サービス
0カ所	3カ所	32カ所	0カ所	10カ所	11カ所